

注3

大学番号：私279

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部設置

注1

認可

広島修道大学 健康科学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人修道学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室総合企画課

職名・氏名 課長・栗原 ^{クリハラ} ^{シンジ} 伸治

電話番号 082-830-1102

（夜間） 082-830-1102

F A X 082-830-1324

e-mail kikaku@js.shudo-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

健康科学部

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

＜健康栄養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	57
2. 授業科目の概要	61
3. 施設・設備の整備状況、経費	75
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	76
5. 教員組織の状況	78
6. 留意事項等に対する履行状況等	103
7. その他全般的事項	104

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人修道学園

(2) 大 学 名

広島修道大学

(3) 大学の位置

〒731-3195
広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学 長	(イチカワ タイチ) 市川 太一 (平成22年4月1日)	(ミカミ タカノリ) 三上 貴教 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)
学 部 長	(マスダ ヒサシ) 増田 尚史 (平成29年4月1日)	(フルミツ イサト) 古満 伊里 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)
学科長等	(フルミツ イサト) 古満 伊里 (平成29年4月1日)	(カワモト ハジメ) 河本 肇 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合（平成30年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 — (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 — (—) [—]	1.05倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	770 (—) [—]	— (—) [—]	651 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	757 (—) [—]	— (—) [—]	644 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	241 (—) [—]	— (—) [—]	246 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	85 (—) [—]	— (—) [—]	84 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B / A	—		—		1.06		1.05			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について **外数で** 記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数で** 記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出** してください。なお、計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入** してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様** にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年 次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	85 [0] (—)	— [—] (—)	84 [0] (—)	— [—] (—)	
2 年 次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	85 [0] (—)	— [—] (—)	
3 年 次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年 次							— [—] (—)	— [—] (—)	
計							169 [—] (—)		

- (注) ・ 数字は、平成 3 0 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数で** 記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成27年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
平成28年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	85 人	0 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	166 人	0 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	251 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{166} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康科学部 心理学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	修大基礎講座	1①		2			2	1			
	初年次セミナー	1②		2		1					
	情報処理入門Ⅰ	1前	2								2
	情報処理入門Ⅱ (情報と表現)	1・2通		2							6
	情報処理入門Ⅱ (情報と分析)	1・2通		2							6
	大学生活とキャリア形成	2前		2							3
	地域イノベーション論	1・2通		2							1
	地域コミュニケーション論	1・2通		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のコミュニケーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のコミュニケーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創特講 (ファシリテーション入門)	1・2③		1							1
	ひろしま未来協創特講 (ワークショップ・スキル入門)	1・2②		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・中山間)	1・2④		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・都心)	1・2③		1							1
	広島学 (広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2前		2							4
留学生教育科目	日本語Ⅰ	1・2前		1							1
	日本語Ⅱ	1・2後		1							1
	日本語Ⅲ	1・2前		1							1
	日本語Ⅳ	1・2後		1							1
	日本語Ⅴ	1・2前		1							1
	日本語Ⅵ	1・2後		1							1
	日本語Ⅶ	1・2前		1							1
	日本語Ⅷ	1・2後		1							1
	アカデミック日本語	1・2通		2							1
	ビジネス日本語	1・2通		2							1
	日本研究	1・2通		2							1
留学支援教育科目	留学スタートアップ	1・2通		1							1
	留学英語入門	1・2通		2							1
	英語圏留学入門	1・2通		1							1
	アジア圏留学入門	1・2通		1							1
	外国語としての日本語	1・2通		2							1
	留学フォローアップ	1・2通		1							1
	グローバル特講Ⅰ	1通		2							1
	グローバル特講Ⅱ	1通		1							1
	グローバル特講Ⅲ	2通		2							1
	グローバル特講Ⅳ	2通		2							1
	留学スタートアップ	1・2通		1							1
	留学英語入門	1・2通		2							1
	英語圏留学入門	1・2通		1							1

【平成30年度】

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	修大基礎講座	1①		2			2	1			
	初年次セミナー	1②		2		1					
	情報処理入門Ⅰ	1前	2								3
	情報処理入門Ⅱ (情報と表現)	1・2通		2							4
	情報処理入門Ⅱ (情報と分析)	1・2通		2							5
	情報応用 (情報セキュリティ)	2・3通		2							1
	大学生活とキャリア形成	2前		2							3
	地域イノベーション論	1・2通		2							1
	地域コミュニケーション論	1・2通		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のコミュニケーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のコミュニケーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のイノベーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のイノベーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創特講 (ファシリテーション入門)	1・2③		1							1
	ひろしま未来協創特講 (ワークショップ・スキル入門)	1・2②		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・中山間)	1・2③		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・都心)	1・2②		1							1
	広島学 (広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2前		2							4
留学生教育科目	日本語Ⅰ	1・2前		1							3
	日本語Ⅱ	1・2後		1							3
	日本語Ⅲ	1・2前		1							3
	日本語Ⅳ	1・2後		1							3
	日本語Ⅴ	1・2前		1							3
	日本語Ⅵ	1・2後		1							3
	日本語Ⅶ	1・2前		1							3
	日本語Ⅷ	1・2後		1							3
	アカデミック日本語	1・2通		2							1
	ビジネス日本語	1・2通		2							1
	日本研究 (日本の政治)	1・2通		2							1
	日本研究 (日本の民俗)	1・2通		2							1
	日本研究 (日本の経済)	1・2通		2							1
留学支援教育科目	留学スタートアップ	1・2通		1							1
	留学英語入門	1・2通		2							1
	英語圏留学入門	1・2通		1							1
	アジア圏留学入門	1・2通		1							2
	外国語としての日本語	1・2通		2							1
	留学フォローアップ	1・2通		1							1
	グローバル特講Ⅰ	1前		2							2
	グローバル特講Ⅱ	1④		1							1
	グローバル特講Ⅲ	2前		1							1
	グローバル特講Ⅳ	2通		2							1
	海外研修A	1～4		1							
	海外研修B	1～4		2							
	海外研修C	1～4		3							
	海外研修D	1～4		4							
	海外研修E	1～4		5							

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
国際 共修 科目	Multicultural Project	1・2通		2							1
	多文化交流プロジェクト	1・2通		2							1
教養 科目	哲学	1・2前		2							1
	倫理学	1・2後		2							1
	美学	1・2前		2							1
	芸術学	1・2前		2							2
	日本文学	1・2前		2							1
	西洋文学	1・2前		2							2
	日本語学	1・2前		2							1
	心理学	1①・②		2		3	1	1			
	文化論	1・2前		2							2
	文化人類学	1・2前		2							1
	日本史	1・2前		2							2
	東洋史	1・2前		2							1
	西洋史	1・2前		2							2
	地理学	1・2前		2							2
	社会学	1・2前		2							1
	法学	1・2前		2							1
	政治学	1・2前		2							1
	経済学	1・2前		2							1
	統計学	1・2前		2							1
	情報社会論	1・2前		2							1
	物理学	1・2後		2							1
	化学	1・2通		2							1
	生物学	1・2通		2							1
	環境科学	1・2通		2							1
	数学	1・2前		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の美術)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の音楽)	1・2後		2							1
	教養講義(江戸文学)	1・2後		2							1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2後		2							1
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2後		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(西欧近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋中近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(生活の中の地理学)	1・2後		2							1
	教養講義(社会学のもの考え方と考え方)	1・2後		2							1
	教養講義(現代経済学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用統計学)	1・2後		2							1
	教養講義(情報環境論)	1・2後		2							1
	教養講義(ヒトの生命科学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用数学)	1・2後		2							1
	教養講義(現代心理学の展開)	1③		2				1			
	教養講義(社会と政治)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(終末期医療と倫理)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(江戸時代の化粧・服装)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代日本語の特質)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(英語と日本語)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ことばと社会)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ピアノ講座)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(歴史と社会)	1・2通		2							1

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
国際 共修 科目	Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society I)	1・2①		2							1
	Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society II)	1・2②		2							1
	Multicultural Project(Japanese Culture in Hospitality and Service)	1・2③		2							1
	Multicultural Project(Images of Japan in Western Cinema)	1・2④		2							1
	Multicultural Project(Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2⑤		2							1
	多文化交流プロジェクト(多文化理解)	1・2前		2							1
	多文化交流プロジェクト(地方の語学)	1・2前		2							1
	多文化交流プロジェクト(広島河内海)	1・2後		2							1
	多文化交流プロジェクト(日本画・日本文化セミナー)	1・2②		2							1
	多文化交流プロジェクト(現代の音楽)	1・2後		2							1
教養 科目	哲学	1・2前		2							1
	倫理学	1・2後		2							1
	美学	1・2前		2							1
	芸術学	1・2前		2							1
	日本文学	1・2前		2							1
	西洋文学	1・2後		2							1
	日本語学	1・2前		2							1
	心理学	1通		2				1			
	文化論	1・2前		2							2
	文化人類学	1・2前		2							1
	日本史	1・2前		2							2
	東洋史	1・2前		2							1
	西洋史	1・2前		2							1
	地理学	1・2通		2							1
	社会学	1・2前		2							1
	法学	1・2前		2							1
	政治学	1・2②		2							1
	経済学	1・2通		2							3
	統計学	1・2前		2							1
	情報社会論	1・2①		2							1
	物理学	1・2後		2							1
	化学	1・2通		2							1
	生物学	1・2後		2							1
	環境科学	1・2通		2							1
	数学	1・2前		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の美術)	1・2前		2							1
	教養講義(西洋の音楽)	1・2後		2							1
	教養講義(江戸文学)	1・2後		2							1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2通		2							1
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2後		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋中近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(生活の中の地理学)	1・2後		2							1
	教養講義(社会学のもの考え方と考え方)	1・2後		2							1
	教養講義(現代経済学)	1・2後		2							2
	教養講義(応用統計学)	1・2後		2							1
	教養講義(情報環境論)	1・2①		2							1
	教養講義(ヒトの生命科学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用数学)	1・2後		2							1
	教養講義(現代心理学の展開)	1後		2				1			
	教養講義(社会と政治)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(終末期医療と倫理)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(江戸時代の化粧・服装)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代日本語の特質)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(英語と日本語)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(ことばと社会)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ピアノ講座)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(歴史と社会)	1・2後		2							1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(日本の社会および経済の文化的基礎)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ベーシック・ファイナンス)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(コーポレートファイナンス入門)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(働く人のための経営学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会と企業)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会とマーケティング)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(家族と法)	1・2後		2					2		1
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義a(現代社会と企業法)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義a(国際社会と法)	1・2前		2					1		1
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義a(生命の化学)	1・2前		2					1		1
	総合教養講義a(病気の生物学)	1・2通		2					1		1
	総合教養講義a(大気の大気環境問題と生態学)	1・2通		2					1		1
	総合教養講義a(生物多様性保全の環境問題)	1・2通		2					1		1
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2通		2					1		1
	総合教養講義a(自然環境と災害)	1・2前		2					1		1
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義b(芸術文化学)	2通		2					1		1
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(和紙)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(マスコミ論)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(労働問題と法)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(国際理解)	2前		2					1		1
	総合教養講義b(生命情報論)	2前		2					1		1
	総合教養コース(世界の言語と文化)	1・2前		2							12
	総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2通		2							3
外国語科目英語科目	英語リスニングⅠ	1前		1							4
	英語リスニングⅢ	1前		1							2
	英語リスニングⅤ	1前		1							1
	英語リスニングⅡ	1後		1							4
	英語リスニングⅣ	1後		1							2
	英語リスニングⅥ	1後		1							1
	英語リーディングⅠ	1前		1							4
	英語リーディングⅢ	1前		1							2
	英語リーディングⅤ	1前		1							1
	英語リーディングⅡ	1後		1							4
	英語リーディングⅣ	1後		1							2
	英語リーディングⅥ	1後		1							1
	実用英語実習Ⅰ	1・2前		1							1
	実用英語実習Ⅱ	1・2後		1							1
	英語ライティング研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語ライティング研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語ライティング研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語ライティング研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語読解研究Ⅰ	1・2前		2							4
	英語読解研究Ⅱ	1・2後		2							4
	英語読解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語読解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語聴解研究Ⅰ	1・2前		2						3	3
	英語聴解研究Ⅱ	1・2後		2						3	2
	英語聴解研究Ⅲ	1・2前		2						1	1
	英語聴解研究Ⅳ	1・2後		2						1	1
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1・2前		2						3	3
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1・2後		2						2	2
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1・2前		2						2	1
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1・2後		2						2	1
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1・2前		2						1	1
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1・2後		2						2	1
	英語語法研究Ⅰ	1・2前		2						1	2
	英語語法研究Ⅱ	1・2後		2						2	2
	英語語法研究Ⅲ	1・2前		2						1	1
	英語語法研究Ⅳ	1・2後		2						1	1
	資格英語研究Ⅰ	1・2前		2						5	6
	資格英語研究Ⅱ	1・2後		2						5	6
	資格英語研究Ⅲ	1・2前		2						2	2
	資格英語研究Ⅳ	1・2後		2						2	2
	資格英語研究Ⅴ	1・2前		2						1	1
	資格英語研究Ⅵ	1・2後		2						1	1
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1・2前		2						1	1
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1・2後		2						1	1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	総合教養講義a(現代日本社会の諸相) (※開講)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(日本の社会および経済の文化的基礎)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ベーシック・ファイナンス)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(コーポレートファイナンス入門)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(働く人のための経営学)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(現代社会と企業)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会とマーケティング)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(家族と法)	1・2後		2					2		1
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義a(現代社会と企業法)	1・2前		2					1		1
	総合教養講義a(国際社会と法)	1・2前		2					1		1
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義a(生命の化学)	1・2前		2					1		1
	総合教養講義a(病気の生物学)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義a(大気の大気環境問題と生態学)	1・2通		2					1		1
	総合教養講義a(生物多様性保全の環境問題)	1・2通		2					1		1
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後		2					1		1
	総合教養講義b(芸術文化学)	2前		2					1		1
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(和紙)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(メディア論)	2前		2					1		1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(労働問題と法)	2後		2					1		1
	総合教養講義b(国際理解)	2前		2					1		1
	総合教養講義b(生命情報論) (※開講)	2前		2					1		1
	総合教養コース(世界の言語と文化)	1・2前		2							12
	総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2前		2							2
外国語科目英語科目	英語リスニングⅠ	1前		1							3
	英語リスニングⅢ	1前		1							1
	英語リスニングⅤ	1前		1							1
	英語リスニングⅡ	1後		1							3
	英語リスニングⅣ	1後		1							1
	英語リスニングⅥ	1後		1							1
	英語リーディングⅠ	1前		1							3
	英語リーディングⅢ	1前		1							1
	英語リーディングⅤ	1前		1							1
	英語リーディングⅡ	1後		1							3
	英語リーディングⅣ	1後		1							1
	英語リーディングⅥ	1後		1							1
	実用英語実習Ⅰ	1・2前		1							1
	実用英語実習Ⅱ	1・2後		1							1
	英語ライティング研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語ライティング研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語ライティング研究Ⅲ	1・2前		2							2
	英語ライティング研究Ⅳ	1・2後		2							2
	英語読解研究Ⅰ	1・2前		2							3
	英語読解研究Ⅱ	1・2後		2							3
	英語読解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語読解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語聴解研究Ⅰ	1・2前		2						2	2
	英語聴解研究Ⅱ	1・2後		2						2	2
	英語聴解研究Ⅲ	1・2前		2						1	1
	英語聴解研究Ⅳ	1・2後		2						1	1
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1・2前		2						2	2
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1・2後		2						2	1
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1・2前		2						2	2
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1・2後		2						1	1
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1・2前		2						1	1
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1・2後		2						2	1
	英語語法研究Ⅰ	1・2前		2						1	2
	英語語法研究Ⅱ	1・2後		2						2	2
	英語語法研究Ⅲ	1・2前		2						1	1
	英語語法研究Ⅳ	1・2後		2						1	1
	資格英語研究Ⅰ	1・2前		2						2	6
	資格英語研究Ⅱ	1・2後		2						2	6
	資格英語研究Ⅲ	1・2前		2						2	2
	資格英語研究Ⅳ	1・2後		2						2	2
	資格英語研究Ⅴ	1・2前		2						1	1
	資格英語研究Ⅵ	1・2後		2						1	1
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1・2前		2						1	1
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1・2後		2						1	1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語Ⅲ	1前		1							1
	ドイツ語Ⅳ	1後		1							1
	フランス語Ⅰ	1前		1							1
	フランス語Ⅱ	1後		1							1
	フランス語Ⅲ	1前		1							1
	フランス語Ⅳ	1後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語Ⅲ	1前		1							1
	スペイン語Ⅳ	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							1
	中国語Ⅱ	1後		1							1
	中国語Ⅲ	1前		1							1
	中国語Ⅳ	1後		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後		1							1
	言語と文化Ⅰ(ドイツ)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(フランス)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前		2							2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後		2							2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(中国語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(中国語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2後		2							1
保健体育科目	健康科学論	1・2後		2							2
	運動科学論	1・2後		2							1
	健康科学演習	1・2前		2							1
	運動科学演習	1・2後		2							1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2通		1							2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1							2
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前		1							1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2通		1							2
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前		1							2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2通		1							2
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2通		1							1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2後		1							3
	健康スポーツ実習(ボディワーク)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(S h u d o A P)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(アダクティブ・スポーツ)	1・2後		1							2
	健康スポーツ実習(フットサル)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(フットサル)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後		1							1
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2通		1							3
	運動スポーツ実習(卓球)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(ダンス)	1・2前		1							1
	運動スポーツ実習(テニス)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2通		1							1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1前		1							2
	ドイツ語Ⅱ	1後		1							2
	ドイツ語Ⅲ	1前		1							2
	ドイツ語Ⅳ	1後		1							2
	フランス語Ⅰ	1前		1							1
	フランス語Ⅱ	1後		1							1
	フランス語Ⅲ	1前		1							1
	フランス語Ⅳ	1後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語Ⅲ	1前		1							1
	スペイン語Ⅳ	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							2
	中国語Ⅱ	1後		1							2
	中国語Ⅲ	1前		1							2
	中国語Ⅳ	1後		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後		1							2
	言語と文化Ⅰ(ドイツ)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(フランス)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前		2							2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後		2							2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(フランス語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(フランス語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(スペイン語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(スペイン語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(中国語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(中国語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2後		2							1
保健体育科目	健康科学論	1・2■		2							3
	運動科学論	1・2後		2							1
	健康科学演習	1・2●		2							1
	運動科学演習	1・2後		2							1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前		1							2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1							1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前		1							1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2通		1							2
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前		1							2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2通		1							3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2通		1							1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2通		1							1
	健康スポーツ実習(S h u d o A P)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(アダクティブ・スポーツ)	1・2後		1							2
	健康スポーツ実習(フットサル)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(フットサル)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後		1							1
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2後		1							2
	運動スポーツ実習(卓球)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(ダンス)	1・2前		1							1
	運動スポーツ実習(テニス)	1・2通		1							3
	運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2通		1							1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	運動スポーツ実習（フットサル）	1・2通		1						1
	野外運動実習Ⅰ（キャンプ）	1・2前		1						3
	野外運動実習Ⅰ（スキー）	1・2後		1						3
	野外運動実習Ⅱ（キャンプ発展）	1・2前		1						1
	野外運動実習Ⅱ（スキー発展）	1・2後		1						1
健康科学部総合科目	健康科学統計法	1①・②	2				1	1		
	健康心理学	1・2②		2						
	食行動科学	2・3③		2		1				
	カウンセリング心理学	2・3②		2		1				
	栄養と健康	1前		2						1
	基礎化学	1前		2						1
	食育入門	3前		2						1
	地域食文化論	3後		2						1
	スポーツ文化論	1・2前		2						1
	コミュニケーション論A	2・3前		2						1
	コミュニケーション論B	2・3後		2						1
	スポーツ社会学	2・3前		2						1
	健康科学部特別講義（生命と倫理）	1後		2						1
	インターナシップ	2・3通		2		1				2
	イノベーション・プロジェクトⅠ（地域課題研究2019）	3・4通		2						1
	イノベーション・プロジェクトⅡ（地域課題研究2019）	3・4後		2						1
	イノベーション・プロジェクトⅠ（地域課題研究2020）	3・4通		2						1
	イノベーション・プロジェクトⅡ（地域課題研究2020）	3・4後		2						1
専門基礎科目	心理学概論Ⅰ	1前	2					1		
	心理学概論Ⅱ	1前	2					1		
	心理学研究法	1①	2			1				
	心理調査概論	1②	2			1	1			
	心理統計法Ⅰ	1③	2				1	1		
	心理学実習Ⅰ	1④	1					1		1
	心理学実習Ⅱ	2①	1					1		1
	心理学基礎演習	2④	1			2	2			
	心理学史	2・3③		2		1				
	心理学外国語文献	2・3③		2		1				
	心理学キーワードA	2①		2		1				
	心理学キーワードB	2②		2			2			
	心理情報処理Ⅰ	2・3③		2						1
	心理情報処理Ⅱ	2・3②		2						1
	最新心理学講義（文化心理学とその展開）	2・3②								1
	最新心理学講義（連合学習理論の基礎と応用可能性）	1・2③								1
	地域援助実践体験	1・2③		2						1
	心理学とキャリア形成	1・2③		2						1
専門標準科目	臨床心理学	1・2②		2		2				1
	医学概論	1・2③		2						
	障がい者（児）心理学	1・2④		2		1				
	ストレスマネジメント	2・3③		2		1				
	心理査定論	1・2④		2			1			
	人格心理学	1・2④		2						1
	心理療法論	2・3④		2						1
	認知行動療法論	2・3③		2		1				
	犯罪心理学	1・2③		2		1				
	学校臨床心理学	1・2④		2		1				
心理臨床領域	発達臨床心理学	2・3②		2		1				
	児童福祉論	1④		2						1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	運動スポーツ実習（フットサル）	1・2通		1						1
	野外運動実習Ⅰ（キャンプ）	1・2前		1						2
	野外運動実習Ⅰ（スキー）	1・2後		1						2
	野外運動実習Ⅱ（キャンプ発展）	1・2前		1						1
	野外運動実習Ⅱ（スキー発展）	1・2後		1						1
健康科学部総合科目	心理学統計法Ⅰ	1①・②	2				1	1		
	健康・医療心理学（未開講）	1・2②		2						
	食行動科学（未開講）	2・3③		2		1				
	心理学的支援法	2・3②		2		1				
	栄養と健康	1前		2						1
	基礎化学	1前		2						1
	食育入門	3前		2						1
	地域食文化論	3後		2						1
	スポーツ文化論（未開講）	1・2前		2						1
	コミュニケーション論A（未開講）	2・3前		2						1
	コミュニケーション論B（未開講）	2・3後		2						1
	スポーツ社会学	2・3③		2						1
	健康科学部特別講義（生命と倫理）	1後		2						1
	インターナシップ	2・3通		2		1				2
	イノベーション・プロジェクトⅠ（地域課題研究2019）	3・4通		2						1
	イノベーション・プロジェクトⅡ（地域課題研究2019）	3・4後		2						1
	イノベーション・プロジェクトⅠ（地域課題研究2020）	3・4通		2						1
	イノベーション・プロジェクトⅡ（地域課題研究2020）	3・4後		2						1
心理学関連科目	哲学概論Ⅰ	1前		2						1
	哲学概論Ⅱ	1・2後		2						1
	倫理学概論Ⅰ	1前		2						1
	倫理学概論Ⅱ	1・2後		2						1
	法律学概論	1・2後		2						4
	政治学概論	2・3③		2						1
	国際法	2・3後		2						1
	国際政治学	2・3前		2						1
	現代経済入門Ⅰ	1前		2						3
	現代経済入門Ⅱ	1後		2						3
専門基礎科目	心理学概論Ⅰ	1①	2					1		
	心理学概論Ⅱ	1①	2					1		
	心理学研究法	1①	2					1		
	心理調査概論	1②	2				1			
	心理学統計法Ⅱ	1③	2				1			
	心理学実験	1後	1					1		3
	心理学調査実習	2①	1					1		3
	心理学基礎演習	2④	1							
	心理学史	2・3③		2		3	1			
	心理学外国語文献（未開講）	2・3③		2		1				
	心理学キーワードA	2①		2		1				
	心理学キーワードB	2②		2		1				
	心理情報処理Ⅰ	2・3③		2						1
	心理情報処理Ⅱ	2・3④		2						1
	最新心理学講義（文化心理学とその展開）	1・2③		2						1
	最新心理学講義（連合学習理論の基礎と応用可能性）	1・2③		2						1
	地域援助実践体験	2通		2		3				
	心理学とキャリア形成	2③		2		3				
専門標準科目	臨床心理学概論（未開講）	1・2②		2		2				
	人々の健康と福祉及び医療（未開講）	1・2③		2						1
	障害者・障害児心理学（未開講）	1・2④		2			1			
	ストレスマネジメント	2・3③		2		1				
	心理的アセスメント（未開講）	1・2④		2			1			
	感情・人格心理学	1・2④		2						1
	心理療法論	2・3③		2						1
	認知行動療法論（未開講）	2・3③		2		1				
	司法・犯罪心理学	1・2③		2		1				
	教育・学校心理学（未開講）	1・2④		2		1				
心理臨床領域	発達臨床心理学	2・3②		2				1		
	児童福祉論	1④		2						1
	福祉心理学	1③		2				1		
	精神疾病とその治療（未開講）	1・2③		2						1
	関係行政論（未開講）	1・2④		2		1				

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門標準科目 心理調査領域	社会心理学	1②		2		1					1
	応用心理学	1・2③		2			1				
	集団力学	1・2③		2			1				
	組織心理学	2①		2							1
	心理統計法Ⅱ	2④		2			1	1			
	学校教育心理学	1・2②		2		1					
	実験社会心理学	2・3①		2		1					
専門標準科目 心理科学領域	産業心理学	2④		2							1
	動機づけ・感情心理学	1・2④		2		1					
	学習心理学	1③		2							1
	認知心理学	1・2②		2		1					
	発達心理学	1・2③		2			1				
	進化心理学	2・3②		2		1					
	知覚心理学	1③		2							1
専門発展科目	生理心理学	1④		2							1
	乳幼児心理学	2・3④		2			1				
	心理言語学	2・3③		2		1					
	心理学特殊実習	2②	1			6	1				
	心理学実習Ⅲ	3前	1			8	3				
	心理学実習Ⅳ	3後	1			8	3				
	心理臨床・実践職能論	3・4①		2		1					
自由選択科目	心理統計法Ⅲ	3・4①		2		1					
	演習Ⅰ	3前	2			8	3				
	演習Ⅱ	3後	2			8	3				
	演習Ⅲ	4前	2			8	3				
	演習Ⅳ	4後	2			8	3				
	卒業論文	4通	4			8	3				
	卒業論文	4通	4			8	3				
教職に関する科目	法律学概論	1・2後			2						4
	政治学概論	2・3前			2						1
	教育政策論	2・3前			2						1
	国際法	2・3後			4						1
	国際政治学Ⅰ	2・3前			2						1
	国際政治学Ⅱ	2・3後			2						1
	現代社会学	1・2後			2						1
	現代経済入門Ⅰ	1前			2						1
	現代経済入門Ⅱ	1後			2						1
	生涯学習論Ⅰ	1・2前			2						1
	生涯学習論Ⅱ	1・2後			2						1
	社会教育計画Ⅰ	1・2前			2						1
	社会教育計画Ⅱ	1・2後			2						1
	哲学概論Ⅰ	1前			2						1
	哲学概論Ⅱ	1・2後			2						1
	倫理学概論Ⅰ	1前			2						1
	倫理学概論Ⅱ	1・2後			2						1
	教職入門(中等)	1前			2						1
	教育心理学(中等)	2・3後			2	1					
	教育原理(中等)	1前			2						1
授業科目 実務課程 関連	教育制度論(中等)	1後			2						1
	中等社会科教育法A	3前			2						1
	社会科・地理歴史科教育法A	3前			2						1
	社会科・公民科教育法A	3後			2						1
	中等社会科教育法演習A	3後			2						1
	中等道德教育論	2後			2						1
	中等特別活動論	2後			2						1
	中等教育方法論	2前			2						1
	中等生徒・進路指導論	2前			2						1
	中等教育相談	2後			2						1
	中等教育実習事前事後指導	3・4通			1						2
	中等教育実習Ⅰ	3通			2						1
	中等教育実習Ⅱ	4通			2						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						3
	差別問題論	1・2前			2						1
	人権教育論	1後			2						1
	憲法Ⅰ	1・2前			2						2
	憲法Ⅱ	1・2後			2						2
	社会教育実習	3通			2						1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門標準科目 心理調査領域	社会・系図・家族心理学	1・2②		2							1
	応用心理学(未開講)	1・2③		2			1				
	集団力学	1・2③		2			1				
	組織心理学(未開講)	2①		2							1
	心理学統計法Ⅲ	2④		2			1	1			
	青年心理学	1・2④		2			1				
	実験社会心理学	2・3④		2			1				
専門標準科目 心理科学領域	産業・組織心理学	2後		2							1
	動機づけ・感情心理学	1・2④		2		1					
	学習心理学	1後		2							1
	知覚・認知心理学	1・2②		2		1					
	発達心理学(未開講)	1・2③		2		1					
	進化心理学(未開講)	2・3②		2		1					
	知覚心理学	1③		2							1
専門発展科目	神経・生理心理学	1④		2							1
	乳幼児心理学	2・3④		2			1				
	学習・心理言語学(未開講)	2・3③		2		1					
	心理学特殊実習	2②	1			6	1				
	心理学応用実習Ⅰ	3前	1			8	3				
	心理学応用実習Ⅱ	3後	1			8	3				
	公認心理師の職責	3・4①		2		1					
自由選択科目	心理学統計法Ⅳ	3・4①		2		1					
	演習Ⅰ	3前	2			8	3				
	演習Ⅱ	3後	2			8	3				
	演習Ⅲ	4前	2			8	3				
	演習Ⅳ	4後	2			8	3				
	心理演習	3・4前		2		2					
	心理実習	4前		2		2					
教職に関する科目	卒業論文	4通	4			8	3				
	法律学概論(科目区分移動)	1・2後		2							4
	政治学概論(科目区分移動)	2・3前		2							1
	教育政策論	2・3前		2							1
	国際法(科目区分移動)	2・3後		4							1
	国際政治学Ⅰ(科目区分移動)	2・3前		2							1
	国際政治学Ⅱ	2・3後		2							1
	現代社会学	1・2後		2							1
	現代経済入門Ⅰ(科目区分移動)	1前		2							1
	現代経済入門Ⅱ(科目区分移動)	1後		2							1
	生涯学習論Ⅰ	1・2前		2							1
	生涯学習論Ⅱ	1・2後		2							1
	社会教育計画Ⅰ	1・2前		2							1
	社会教育計画Ⅱ	1・2後		2							1
	哲学概論Ⅰ(科目区分移動)	1前		2							1
	哲学概論Ⅱ(科目区分移動)	1・2後		2							1
	倫理学概論Ⅰ(科目区分移動)	1前		2							1
	倫理学概論Ⅱ(科目区分移動)	1・2後		2							1
授業科目 実務課程 関連	教職入門(中等)	1前			2						1
	教育心理学(中等)	2・3後			2	1					
	教育原理(中等)	1前			2						1
	教育制度論(中等)	1後			2						1
	中等社会科教育法A	3前			2						1
	社会科・地理歴史科教育法A	3前			2						1
	社会科・公民科教育法A	3後			2						1
	中等社会科教育法演習A	3後			2						1
	中等道德教育論	2後			2						1
	中等特別活動論	2後			2						1
	中等教育方法論	2前			2						1
	中等生徒・進路指導論	2前			2						1
	中等教育相談	2後			2						1
	中等教育実習事前事後指導	3・4通			1						2
	中等教育実習Ⅰ	3通			2						1
	中等教育実習Ⅱ	4通			2						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						3
	差別問題論	1・2前			2						1
	人権教育論	1後			2						1

- (注)・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
全学共通科目	修大基礎講座	1①		2		2	2	1		
	初年次セミナー	1②		2		1				
	情報処理入門Ⅰ	1前	2							2
	情報処理入門Ⅱ（情報と表現）	1・2通		2						4
	情報処理入門Ⅱ（情報と分析）	1・2通		2						5
	大学生活とキャリア形成	2前		2						3
	地域イノベーション論	1・2通		2						1
	地域コミュニケーション論	1・2通		2						1
	ひろしま未来協創プロジェクト（都心のコミュニケーション）	2・3前		2						1
	ひろしま未来協創プロジェクト（中山間地域のコミュニケーション）	2・3前		2						1
	ひろしま未来協創プロジェクト（都心のイノベーション）	2・3後		2						1
	ひろしま未来協創プロジェクト（中山間地域のイノベーション）	2・3後		2						1
	ひろしま未来協創特講（ファシリテーション入門）	1・2①		1						1
	ひろしま未来協創特講（ワークショップ・スキル入門）	1・2②		1						1
	ひろしま未来協創特講（発見・デザイン・中山間）	1・2③		1						1
	ひろしま未来協創特講（発見・デザイン・都心）	1・2④		1						1
	広島学（広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ）	2前		2						4
留学生教育科目	日本語Ⅰ	1・2前		1						3
	日本語Ⅱ	1・2後		1						2
	日本語Ⅲ	1・2前		1						3
	日本語Ⅳ	1・2後		1						3
	日本語Ⅴ	1・2前		1						2
	日本語Ⅵ	1・2後		1						3
	日本語Ⅶ	1・2前		1						3
	日本語Ⅷ	1・2後		1						2
	アカデミック日本語	1・2通		2						1
	ビジネス日本語	1・2通		2						1
	日本研究（日本の政治）	1・2通		2						1
留学支援教育科目	日本研究（日本の民俗）	1・2通		2						1
	日本研究（日本の経済）	1・2通		2						1
	留学スタートアップ	1・2通		1						1
	留学英語入門（TOEFL/IELTS）	1・2通		2						1
	英語圏留学入門	1・2通		1						2
	アジア圏留学入門	1・2通		1						1
	外国語としての日本語	1・2通		2						1
	留学フォローアップ	1・2通		1						1
	グローバル特講Ⅰ	1通		2						2
	グローバル特講Ⅱ	1通		1						1
	グローバル特講Ⅲ	2通		1						1
	グローバル特講Ⅳ	2通		2						1
	海外研修A	1～4		1						
	海外研修B	1～4		2						
	海外研修C	1～4		3						
	海外研修D	1～4		4						
	海外研修E	1～4		5						

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
国際 共 修 科 目	Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society I)	1・2通		2							1
	Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society II)	1・2通		2							1
	Multicultural Project(Japanese Culture in Hospitality and Service)	1・2通		2							1
	Multicultural Project(Images of Japan in Western Cinema)	1・2通		2							1
	Multicultural Project(Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2通		2							1
	多文化理解プロジェクト(多文化理解)	1・2通		2							1
	多文化理解プロジェクト(地方の魅力)	1・2通		2							1
	多文化理解プロジェクト(広島県産品)	1・2通		2							1
	多文化理解プロジェクト(日本 画・日本文化セミナー)	1・2通		2							1
教 養 科 目	哲学	1・2前		2							1
	倫理学	1・2後		2							1
	美学	1・2前		2							1
	芸術学	1・2前		2							2
	日本文学	1・2前		2							1
	西洋文学	1・2後		2							1
	日本語学	1・2前		2							1
	心理学	1①～③		2		3	1	1			
	文化論	1・2通		2							2
	文化人類学	1・2前		2							1
	日本史	1・2前		2							2
	東洋史	1・2前		2							1
	西洋史	1・2前		2							1
	地理学	1・2前		2							2
	社会学	1・2前		2							1
	法学	1・2前		2							1
	政治学	1・2前		2							1
	経済学	1・2通		2							2
	統計学	1・2前		2							1
	情報社会論	1・2前		2							1
	物理学	1・2後		2							1
	化学	1・2通		2							1
	生物学	1・2通		2							1
	環境科学	1・2通		2							1
	数学	1・2前		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の美術)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の音楽)	1・2後		2							1
	教養講義(江戸文学)	1・2後		2							1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2後		2							1
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2後		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋中近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(生活の中の地理学)	1・2後		2							1
	教養講義(社会学のものの見方と考え方)	1・2後		2							1
	教養講義(現代経済学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用統計学)	1・2後		2							1
	教養講義(情報環境論)	1・2後		2							1
	教養講義(ヒトの生命科学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用数学)	1・2後		2				1			1
	教養講義(現代心理学の展開)	1④		2							
	教養講義(社会と政治)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(終末期医療と倫理)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(江戸時代の化粧・服装)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代日本語の特質)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(英語と日本語)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ことばと社会)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ピアノ講座)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(歴史と社会)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	1・2後		2							1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	総合教養講義a(日本の社会および経済の文化的基礎)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ベーシック・ファイナンス)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(コーポレートファイナンス入門)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(働く人のための経営学)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(現代社会と企業)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会とマーケティング)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(家族と法)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(現代社会と企業法)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(国際社会と法)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(生命の化学)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(病気の生物学)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(大気環境問題と生態系)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(生物多様性保全の環境問題)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後		2							1
	総合教養講義b(芸術文化学)	2通		2							1
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後		2							1
	総合教養講義b(和紙)	2後		2							1
	総合教養講義b(メディア論)	2後		2							1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後		2							1
	総合教養講義b(労働問題と法)	2後		2							1
	総合教養講義b(国際理解)	2前		2							1
	総合教養講義b(生命情報論)	2前		2							1
	総合教養コース(世界の言語と文化)	1・2前		2							12
	総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2通		2							4
外国語科目 英語科目	英語リスニングⅠ	1前		1							4
	英語リスニングⅢ	1前		1							1
	英語リスニングⅤ	1前		1							1
	英語リスニングⅡ	1後		1							4
	英語リスニングⅣ	1後		1							1
	英語リスニングⅥ	1後		1							1
	英語リーディングⅠ	1前		1							4
	英語リーディングⅢ	1前		1							1
	英語リーディングⅤ	1前		1							1
	英語リーディングⅡ	1後		1							4
	英語リーディングⅣ	1後		1							1
	英語リーディングⅥ	1後		1							1
	実用英語実習Ⅰ	1・2前		1							1
	実用英語実習Ⅱ	1・2後		1							1
	英語ライティング研究Ⅰ	1・2前		2							1
	英語ライティング研究Ⅱ	1・2後		2							1
	英語ライティング研究Ⅲ(※開講)	1・2前		2							1
	英語ライティング研究Ⅳ(※開講)	1・2後		2							1
	英語読解研究Ⅰ	1・2前		2							3
	英語読解研究Ⅱ	1・2後		2							3
	英語読解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語読解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語聴解研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語聴解研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語聴解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語聴解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1・2前		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1・2後		2							1
	英語語法研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語語法研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語語法研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語語法研究Ⅳ	1・2後		2							1
	資格英語研究Ⅰ	1・2前		2							5
	資格英語研究Ⅱ	1・2後		2							5
	資格英語研究Ⅲ	1・2前		2							2
	資格英語研究Ⅳ	1・2後		2							2
	資格英語研究Ⅴ(※開講)	1・2前		2							1
	資格英語研究Ⅵ	1・2後		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1・2前		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1・2後		2							1

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1前		1						2
	ドイツ語Ⅱ	1後		1						2
	ドイツ語Ⅲ	1前		1						2
	ドイツ語Ⅳ	1後		1						2
	フランス語Ⅰ	1前		1						1
	フランス語Ⅱ	1後		1						1
	フランス語Ⅲ	1前		1						1
	フランス語Ⅳ	1後		1						1
	スペイン語Ⅰ	1前		1						1
	スペイン語Ⅱ	1後		1						1
	スペイン語Ⅲ	1前		1						1
	スペイン語Ⅳ	1後		1						1
	中国語Ⅰ	1前		1						2
	中国語Ⅱ	1後		1						2
	中国語Ⅲ	1前		1						2
	中国語Ⅳ	1後		1						2
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1						2
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1						2
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前		1						2
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後		1						2
	言語と文化Ⅰ(ドイツ)	2前		2						1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2後		2						1
	言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2前		2						1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2後		2						1
	言語と文化Ⅰ(フランス)	2前		2						1
	言語と文化Ⅱ(フランス)	2後		2						1
	言語と文化Ⅲ(フランス)	2前		2						1
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2後		2						1
	言語と文化Ⅰ(スペイン)	2前		2						1
	言語と文化Ⅱ(スペイン)	2後		2						1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2前		2						1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後		2						1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前		2						1
	言語と文化Ⅱ(中国)	2後		2						1
	言語と文化Ⅲ(中国)	2前		2						1
	言語と文化Ⅳ(中国)	2後		2						1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前		2						2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後		2						2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前		2						1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後		2						1
	上級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2前		2						1
	上級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2後		2						1
	上級外国語Ⅰ(フランス語)	2前		2						1
	上級外国語Ⅱ(フランス語)	2後		2						1
	上級外国語Ⅰ(スペイン語)	2前		2						1
	上級外国語Ⅱ(スペイン語)	2後		2						1
上級外国語Ⅰ(中国語)	2前		2						1	
上級外国語Ⅱ(中国語)	2後		2						1	
上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2前		2						1	
上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2後		2						1	
保健体育科目	健康科学論	1・2通		2						2
	運動科学論	1・2後		2						1
	健康科学演習	1・2後		2						1
	運動科学演習	1・2後		2						1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後		1						1
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2後		1						1
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1						1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前		1						1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2通		1						3
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前		1						2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2通		1						3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2前		1						1
	健康スポーツ実習(バスケケットボール)	1・2通		1						1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2通		1						2
	健康スポーツ実習(Skull d. A.P.)	1・2後		1						1
	健康スポーツ実習(アダブテッド・スポーツ)	1・2後		1						2
	運動スポーツ実習(フットボール)	1・2通		1						1
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2通		1						1
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1						2
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2後		1						3
運動スポーツ実習(卓球)	1・2通		1						2	
運動スポーツ実習(テニス)	1・2通		1						3	
運動スポーツ実習(バスケケットボール)	1・2通		1							

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	運動スポーツ実習（バドミントン）	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習（バレーボール）	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習（フットサル）	1・2通		1							1
	野外運動実習Ⅰ（キャンプ）	1・2前		1							3
	野外運動実習Ⅰ（スキー）	1・2後		1							3
	野外運動実習Ⅱ（キャンプ発展）	1・2前		1							1
	野外運動実習Ⅱ（スキー発展）	1・2後		1							1
健康科学部総合科目	健康科学統計法	1①・②	2				1	1			
	健康心理学	1・2②	2			1					
	食行動科学	2・3③	2			1					
	カウンセリング心理学	2・3②	2			1					
	栄養と健康	1前	2								1
	基礎化学	1前	2								1
	食育入門	3前	2								1
	地域食文化論	3後	2								1
	スポーツ文化論	1・2前	2								1
	コミュニケーション論A	2・3前	2								1
	コミュニケーション論B	2・3後	2								1
	スポーツ社会学	2・3前	2								1
	健康科学部特別講義（生命と倫理）	1後	2								1
	インターンシップ	2・3通	2			1					2
	イノベーション・プロジェクトⅠ（地域課題研究2019）	3・4通	2								1
	イノベーション・プロジェクトⅡ（地域課題研究2019）	3・4後	2								1
	イノベーション・プロジェクトⅠ（地域課題研究2020）	3・4通	2								1
	イノベーション・プロジェクトⅡ（地域課題研究2020）	3・4後	2								1
心理学関連科目	哲学概論Ⅰ	1前	2								1
	哲学概論Ⅱ	1・2後	2								1
	倫理学概論Ⅰ	1前	2								1
	倫理学概論Ⅱ	1・2後	2								1
	法律学概論	1・2後	2								4
	政治学概論	2・3前	2								1
	国際法	2・3後	4								1
	国際政治学Ⅰ	2・3前	2								1
	現代経済入門Ⅰ	1前	2								2
	現代経済入門Ⅱ	1後	2								2
専門基礎科目	心理学概論Ⅰ	1①	2					1			
	心理学概論Ⅱ	1①	2					1			
	心理学研究法	1①	2					1			
	心理調査概論	1②	2			1	1				
	心理統計法Ⅰ	1③	2				1	1			
	心理学実習Ⅰ	1④	1					1			1
	心理学実習Ⅱ	2①	1					1			1
	心理学基礎演習	2④	1			2	2				
	心理学史	2・3③	2			1					
	心理学外国語文献	2・3③	2			1					
	心理学キーワードA	2①	2			1					
	心理学キーワードB	2②	2				2				
	心理情報処理Ⅰ	2・3③	2								1
	心理情報処理Ⅱ	2・3②	2								1
	最新心理学講義（文化心理学とその展開）										
	最新心理学講義（連合学習理論の基礎と応用可能性）										
専門標準科目 心理臨床領域	地域援助実践体験	1・2③	2								1
	心理学とキャリア形成	1・2③	2								1
	臨床心理学	1・2②	2			2					
	医学概論	1・2③	2								1
	障がい者（児）心理学	1・2④	2			1					
	ストレスマネジメント	2・3③	2			1					
	心理査定論	1・2④	2				1				
	人格心理学	1・2④	2								1
	心理療法論	2・3④	2								1
	認知行動療法論	2・3③	2			1					
心理臨床領域	犯罪心理学	1・2③	2			1					
	学校臨床心理学	1・2④	2			1					
	発達臨床心理学	2・3②	2			1					
	児童福祉論	1④	2								1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門標準科目 心理調査領域	社会心理学	1②		2		1					1
	応用心理学	1・2③		2			1				
	集団力学	1・2③		2			1				
	組織心理学	2①		2							1
	心理統計法Ⅱ	2④		2			1	1			
	学校教育心理学	1・2②		2		1					
	実験社会心理学	2・3①		2		1					
専門標準科目 心理科学領域	産業心理学	2④		2							1
	動機づけ・感情心理学	1・2④		2		1					
	学習心理学	1③		2							1
	認知心理学	1・2②		2		1					
	発達心理学	1・2③		2		1					
	進化心理学	2・3②		2							
	知覚心理学	1③		2							1
専門発展科目	生理心理学	1④		2							1
	乳幼児心理学	2・3④		2			1				
	心理言語学	2・3③		2		1					
	心理学特殊実習	2②	1			6	1				
	心理学実習Ⅲ	3前	1			8	3				
	心理学実習Ⅳ	3後	1			8	3				
	心理臨床・実践職能論	3・4①		2		1					
	心理統計法Ⅲ	3・4①		2		1					
	演習Ⅰ	3前	2			8	3				
	演習Ⅱ	3後	2			8	3				
	演習Ⅲ	4前	2			8	3				
	演習Ⅳ	4後	2			8	3				
自由選択科目	卒業論文	4通	4			8	3				
	法哲学概論（科目区分移動）	1・2後			2						4
	政治学概論（科目区分移動）	2・3前			2						1
	教育政策論	2・3前			2						1
	国際法（科目区分移動）	2・3後			4						1
	国際政治学Ⅰ（科目区分移動）	2・3前			2						1
	国際政治学Ⅱ	2・3後			2						1
	現代社会学	1・2後			2						1
	現代経済入門Ⅰ（科目区分移動）	1前			2						1
	現代経済入門Ⅱ（科目区分移動）	1後			2						1
	生涯学習論Ⅰ（未開講）	1・2前			2						1
	生涯学習論Ⅱ（未開講）	1・2後			2						1
	社会教育計画Ⅰ	1・2前			2						1
	社会教育計画Ⅱ	1・2後			2						1
	哲学概論Ⅰ（科目区分移動）	1前			2						1
	哲学概論Ⅱ（科目区分移動）	1・2後			2						1
	倫理学概論Ⅰ（科目区分移動）	1前			2						1
	倫理学概論Ⅱ（科目区分移動）	1・2後			2						1
教職に関する科目	教職入門（中等）	1前			2						1
	教育心理学（中等）	2・3後			2	1					
	教育原理（中等）	1前			2						1
	教育制度論（中等）	1後			2						1
	中等社会科教育法 A	3前			2						1
	社会科・地理歴史科教育法 A	3前			2						1
	社会科・公民科教育法 A	3後			2						1
	中等社会科教育法演習 A	3後			2						1
	中等道德教育論	2後			2						1
	中等特別活動論	2後			2						1
	中等教育方法論	2前			2						1
	中等生徒・進路指導論	2前			2						1
	中等教育相談	2後			2						1
	中等教育実習事前事後指導	3・4通			1						2
	中等教育実習Ⅰ	3通			2						1
	中等教育実習Ⅱ	4通			2						1
	教職実践演習（中・高）	4後			2						3
	差別問題論	1・2前			2						1
	人権教育論	1後			2						1
授業科目 履修課程関連	憲法Ⅰ	1・2前			2						2
	憲法Ⅱ	1・2後			2						2
	社会教育実習	3通			2						1

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・情報処理科目の見直しにより、情報処理科目の名称を「情報処理入門」から「情報処理入門Ⅰ」に、「情報処理入門Ⅱ」の詳細科目名を変更。併せて担当者の見直しを実施。
- ・グローバル科目の再編により、担当者数を変更。
- ・留学生教育科目のうち、「日本研究」に詳細科目名を設定。
- ・留学支援教育科目に、留学先で取得した単位の認定科目として「海外研修A～E」を追加。
- ・国際共修科目について、詳細科目名を設定。
- ・教養科目の担当者の時間割編成により「西洋文学」「西洋史」「経済学」「総合教養講義a(家族と法)」「総合教養コース(情報化社会と人間)」の担当者数を変更。
- ・外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な英語科目の担当者数を変更。
- ・初修外国語の上級クラスを充実させるため、ドイツ語、フランス語、スペイン語に上級科目を設置。それにより、クラス担当者数を変更。
- ・保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。
- ・教職課程認定申請時の担当局からの指導により、自由選択科目から主専攻科目へ10科目移動。
- ・担当者の昇任により、「発達心理学」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」へ変更。

【平成30年度】

- ・主専攻科目充実のため、「修大基礎講座」の「教授2、准教授2、講師1」から「教授2」に変更。
- ・少人数クラスにするため「情報処理入門Ⅰ」の担当者を「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・交換留学生のクラス充実のため「日本語Ⅱ」「日本語Ⅴ」「日本語Ⅷ」のクラスを増設、「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・グローバルコース履修者への授業充実を図るため、「グローバル特講Ⅰ」を「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・兼任の退職により、「芸術学」「地理学」が「兼任1、兼任1」から「兼任1」に変更。
- ・兼任の採用により、「経済学」「教養講義」が「兼任2」から「兼任2、兼任1」に変更、教養講義(現代経済学)が「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・科目担当者の時間割調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」が「兼任4」から「兼任2」に変更。
- ・外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な英語科目の担当者数を変更。
- ・保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。
- ・全学的な教職課程履修者の受講者対応のため、「現代経済入門Ⅰ」「現代経済入門Ⅱ」の担当者を「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・公認心理師資格課程認定のため、科目名を次の通り変更。
 - 「健康科学統計法」⇒「心理学統計法Ⅰ」、「健康心理学」⇒「健康・医療心理学」、
 - 「カウンセリング心理学」⇒「心理学的支援法」、「心理統計法Ⅰ」⇒「心理学統計法Ⅱ」、
 - 「心理学実習Ⅰ」⇒「心理学実験」、「心理学実習Ⅱ」⇒「心理学調査実習」、
 - 「臨床心理学」⇒「臨床心理学概論」、「医学概論」⇒「人体の構造及び機能疾病」、
 - 「障がい者(児)心理学」⇒「障害者・障害児心理学」、
 - 「心理査定論」⇒「心理的アセスメント」、「人格心理学」⇒「感情・人格心理学」、
 - 「犯罪心理学」⇒「司法・犯罪心理学」、「学校臨床心理学」⇒「教育・学校心理学」、
 - 「社会心理学」⇒「社会・集団・家族心理学」、「心理統計法Ⅱ」⇒「心理学統計法Ⅲ」、
 - 「学校教育心理学」⇒「青年心理学」、「産業心理学」⇒「産業・組織心理学」、
 - 「認知心理学」⇒「知覚・認知心理学」、「生理心理学」⇒「神経・生理心理学」、
 - 「心理言語学」⇒「学習・心理言語学」、「心理学実習Ⅲ」⇒「心理学応用実習Ⅰ」、
 - 「心理学実習Ⅳ」⇒「心理学応用実習Ⅱ」、「心理臨床・実践職能論」⇒「公認心理師の職責」
- 【追加科目】「福祉心理学」「精神疾患とその治療」「関係行政論」「心理演習」「心理実習」
- ・再履修生対応、授業充実のため、「心理学実験」「心理調査実習」の「兼任1」を「兼任3」に変更。
- ・昇任により、「心理学統計法Ⅰ」「心理学統計法Ⅲ」が「准教授1、講師1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・「心理学基礎演習」が「教授2、准教授1」から「教授3、准教授1」に、「乳幼児心理学」を「准教授1」から「教授1」に変更。「心理調査概論」「応用心理学」「集団力学」が「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「心理学実験」に「教授1」を追加。
- ・「発達臨床心理学」「福祉心理学」を「兼任1」から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	324 科目	20 科目	362 科目	18 科目 [0]	340 科目 [16]	20 科目 [0]	378 科目 [16]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2	2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講で調整中。
2	教養講義(西洋の音楽)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講で調整中。
3	教養講義(ドイツ文学)	2	1・2	一般	選択	担当者の時間数調整により、次年度開講で調整中。
4	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講で調整中。
5	総合教養講義b(生命情報論)	2	1・2	一般	選択	担当者が病气療養中のため、次年度開講で調整中。
6	教養講義(社会と政治)	2	1・2	一般	選択	担当者の時間数調整により、次年度開講で調整中。
7	健康・医療心理学	2	1・2	専門	選択	担当者の役職就任による調整、次年度開講予定。
8	食行動科学	2	2・3	専門	選択	隔年開講のため、次年度開講予定。
9	スポーツ文化論	2	1・2	専門	選択	他学科提供科目、隔年開講のため、次年度開講予定。
10	コミュニケーション論A	2	2・3	専門	選択	他学科提供科目、隔年開講のため、次年度開講予定。
11	コミュニケーション論B	2	2・3	専門	選択	他学科提供科目、隔年開講のため、次年度開講予定。
12	最新心理学講義(文化心理学とその展開)	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため、次年度開講予定。
13	心理学外国語文献	2	2・3	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
14	臨床心理学概論	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
15	人体の構造と機能及び疾病	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
16	障害者・障害児心理学	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
17	心理的アセスメント	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
18	認知行動療法論	2	2・3	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
19	教育・学校心理学	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
20	精神疾患とその治療	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
21	関係行政論	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
22	応用心理学	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
23	組織心理学	2	2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
24	発達心理学	2	1・2	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
25	進化心理学	2	2・3	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。
26	学習・心理言語学	2	2・3	専門	選択	公認心理師課程の詳細決定を受けて次年度開講予定。

- (注) ・ 配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教養講義(西欧近代史)	2	2・3	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
2	総合教養講義a(自然環境と災害)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
3	健康スポーツ実習(ボディワーク)	1	1・2	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
4	健康スポーツ実習(フットサル)	1	1・2	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
5	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1	1・2	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
6	運動スポーツ実習(ダンス)	1	1・2	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通科目の教養科目については、詳細付の科目であり、担当者によって変遷する。
また、地域イノベーションコースの見直しにより、一部は国際コミュニティ学部地域行政学科の科目として開設され、聴講が認められる予定。
未開講科目の内の専門科目は、公認心理師課程を設置するための科目であり、課程内容の詳細を確認したのちの開講とする。
学生への周知は、シラバスの配当表をホームページに掲載しているほか、ガイダンスにおいても履修に際しての注意事項として喚起している。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{32}{362} = \boxed{8.83} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	36,805㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡				
	運動場用地	101,957㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡				
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡				
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡				
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建築計画と登記上の誤差 による。(29)				
	70,640㎡ 70,746㎡	0㎡	0㎡	70,640㎡ 70,746㎡					
	(70,640㎡) (70,746㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(70,640㎡) (70,746㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	98室 400室	17室 20室	65室	18室 (補助職員 一人)	7室 8室 (補助職員 一人)	利用計画の変更による。 (29)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	健康科学部 心理学科			13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 実績に基づき変更 (30)	
	健康科学部 心理学科	891,349[237,194] 887,652[239,007] 942,647[242,562] (870,349[234,634]) (849,122[232,467]) (906,647[236,022])	5,876[2,554] 5,663[2,500] 5,787[2,531] (5,876[2,554]) (5,663[2,500]) (5,787[2,531])	13,227[13,167] 12,918[12,298] 12,403[12,352] (13,227[13,167]) (12,918[12,298]) (12,403[12,352])	23,712 22,990 22,606 (23,372) (22,390) (22,096)		() ()		
	計	891,349[237,194] 887,652[239,007] 942,647[242,562] (870,349[234,634]) (849,122[232,467]) (906,647[236,022])	5,876[2,554] 5,663[2,500] 5,787[2,531] (5,876[2,554]) (5,663[2,500]) (5,787[2,531])	13,227[13,167] 12,918[12,298] 12,403[12,352] (13,227[13,167]) (12,918[12,298]) (12,403[12,352])	23,712 22,990 22,606 (23,372) (22,390) (22,096)		() ()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 増席 (29)		
	11,700㎡		952 948		1,200,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	8,871㎡		屋内プール1面	野球場1面	陸上競技場1面	アーチェリー場1面			
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	0千円	2,731千円 4,318千円	9,358千円	図書費には電子ジャーナル・データベース整備費 (運用コスト含む)を含む。
		共同研究費等	3,995千円 1,000千円	1,000千円	設備購入費	359千円	18,153千円 2,036千円	15,891千円	
	学生1人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	開設前年度事業終了に伴う 執行額確定のため。 (29)	
		1,260千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円	一千円	一千円	開設年度事業終了に伴う 執行額確定のため。 (30)	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大 学 の 名 称	広 島 修 道 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均 入学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
商学部	年	人	年次 人	人		倍			
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.10	昭和35年度	広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号	
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.13	昭和38年度	同上	
経済科学部									
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.12	平成9年度	同上	
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.11	平成9年度	同上	
人文学部									
人間関係学科	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上	
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成29年より 学生募集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上	
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成28年より 学生募集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.00	平成28年度	同上	
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.17	昭和48年度	同上	
法学部									
法律学科	4	195	—	780	学士 (法学)	1.10	昭和51年度	同上	
国際政治学科	4	—	—	—	学士 (国際政治学)	—	平成2年度	同上	平成30年より 学生募集停止
人間環境学部									
人間環境学科	4	115	—	460	学士 (人間環境学)	1.12	平成14年度	同上	
健康科学部									
心理学科	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.05	平成29年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	1.03	平成29年度	同上	
国際コミュニティ学部									
国際政治学科	4	75	—	300	学士 (国際政治学)	1.12	平成30年度	同上	
地域行政学科	4	75	—	300	学士 (地域行政学)	1.10	平成30年度	同上	
商学研究科									
商学専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.18	昭和46年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.00	昭和48年度	同上	
経営学専攻									
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.62	昭和52年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00	昭和52年度	同上	
経済科学研究科									
現代経済システム専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.00	平成15年度	同上	

経済情報専攻								
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00	平成15年度	同上
人文科学研究科								
心理学専攻								
博士前期課程	2	14	—	28	修士 (心理学)	0.60	昭和53年度	同上
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.50	昭和56年度	同上
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.10	昭和59年度	同上
英文学専攻								
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.40	昭和53年度	同上
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和56年度	同上
法学研究科								
法学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.00	昭和56年度	同上
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0.25	平成6年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

「5教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

6 留意事項等に対する履行状況等

<健康科学部 心理学科>

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年10月)	1.活動推進学期において「海外セミナー」、「地域援助実践体験」又は「心理学とキャリア形成」のいずれを履修する学生に対しても、活動推進学期の意図と教育課程との対応関係を十分に理解するように周知し、学生が自らのキャリアを見据えて、科目の履修や自主的な活動を行うことができるよう指導すること。併せて、「心理学とキャリア形成」を履修する場合の履修モデルを作成し、教育課程における「心理学とキャリア形成」の位置付けを分かりやすく学生に示すこと。	留意事項	新入生用の「2017学修の手引きー健康科学部」において、活動推進学期の意図と教育課程との対応関係を記述して配布した。新入生ガイダンスでは、この「2017学修の手引き」並びに配布資料を用いて、活動推進学期の意義と活動内容、及び活動推進学期に向けて今後必要となる準備について周知した。第1学期に開講される「修大基礎講座」、第2学期に開講される「初年次セミナー」において、引き続き活動推進学期の意義と内容についてその周知を徹底する。	履行済	「地域援助実践体験」の履修希望者には、1年次第4学期に希望理由書の提出を求め、これに対する審査と面接、及び単位修得状況の確認を通じて履修の適否を判断する。したがって、1年次第3学期～第4学期初頭にかけて、当科目担当者による説明会を複数回に渡って実施する。
	2.海外セミナーの単位認定については、本学における対応する各科目をあらかじめ学生に明示するなど、学生に対して分かりやすい情報を提供すること。	留意事項	各海外セミナーにおける学習内容・学習時間に対応する科目（海外研修A、B、C、D、E）を全学共通のグローバル科目区分（留学支援教育）に追加し、これによって単位認定することとした。活動推進学期中の海外セミナーに対応する科目を新入生に対するガイダンスにおいて周知した。	履行済	海外セミナー参加者募集要項において、本学における読み替え科目を明示するとともに、募集説明会においても周知する。活動推進学期中の海外セミナーに関しては、「地域援助実践体験」の説明会の際にも学科教員が説明し、周知する。
	3.海外セミナーと「地域援助実践体験」については、受入可能人数が限られており、希望者が全員受講できる体制とは言えないことから、あらかじめ対象人数や選定の基準を学生に周知するとともに、希望者が受講できるように受入先の拡充や受講期間の柔軟化に努めること。	留意事項	海外セミナーと「地域援助実践体験」の受け入れ予定人数並びにその選考基準の概略について新入生ガイダンスにおいて説明した。「地域援助実践体験」の受け入れ先については、認可申請書類提出後、新たに3施設（定員15名）から受け入れの了承を得た。	履行済	海外セミナーと「地域援助実践体験」の受け入れ先については、その追加がなされるたびにMoodle上で心理学科の学生に周知する。「地域援助実践体験」における各受け入れ施設での正式な活動スケジュールを本年の8月以降11月までに確定し、順次当該施設との覚書を交わす。
	4.「心理学とキャリア形成」は、学生が自らテーマを設定して活動を行う科目であることから、「学外で1か月以上の体験学習に従事する教育プログラム」としての考え方が各テーマに反映されるよう十分に指導し、適切な活動把握と成績評価を行うよう努めること。	留意事項	「心理学とキャリア形成」の科目理念について新入生ガイダンスにおいて説明した。また、本学のひろしま未来協創センター・ピアカウンターの協力により、当該科目の履修生が短期ボランティア活動に参加できる素地を整えた。	履行済	「心理学とキャリア形成」は2年次配当科目であるため本年度の開講はないが、想定されるテーマ・活動及び成績評価基準について、本年度中に担当者間で議論・検討する。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該 当 な し	—	該 当 な し	—	—

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<健康科学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該 当 な し	該 当 な し

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

広島修道大学FD・SD規定に基づき、全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学大学運営会議で審議する。各学部、研究科については、それぞれFD推進（作業）委員会を組織している。健康科学部にも健康科学部FD作業委員会が設置されている。また、健康科学部心理学科及び健康栄養学科は、教育内容、教育方法等の改善を図るために、それぞれに学科会議を開催してFD活動を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<大学運営会議>

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。平成30年度も4月16日の大学運営会議の議題「平成30年度研修計画について」で平成29年度の研修実施実績報告と平成30年度の研修計画が承認された。

<健康科学部FD推進（作業）委員会>

年に2回以上開催しており、健康科学部専任教員及び学部担当教務職員が参加する。

<学科会議>

心理学科、健康栄養学科のそれぞれが毎月定例で開催しており、各学科の専任教員がすべて参加する。

c 委員会の審議事項等

<大学運営会議>

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

<健康科学部FD推進委員会>

1. カリキュラム・授業科目の構成について
2. 授業科目のシラバス・授業計画の内容について
3. 授業の方法について
4. 履修指導について
5. 厳正で客観的な成績評価方法について
6. 成績評価結果の告知方法について
7. 進級制度及び進級認定について
8. 最終試験及び卒業認定について
9. 資格取得について
10. 授業アンケートについて
11. その他必要な事項について

<学科会議>

1. 各学科におけるカリキュラム・授業科目の構成について
2. 各学科における授業科目のシラバス・授業計画の内容について
3. 各学科における授業の方法について
4. 各学科における履修指導について
5. 各学科に関連する校務分掌について
6. 一般入試における指定科目の検討並びに推薦入試の出題内容について
7. オープンキャンパスの内容並びに担当者について
8. 学科予算について
9. 学科事業計画について
10. その他必要な事項について

② 実施状況

a 実施内容

全学では、教員の資質向上のために、大学改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目指したFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目指した組織的な公開授業等を行っている。健康科学部では、カリキュラム、成績評価、授業の方法等について、心理学科、健康栄養学科に共通する課題を予めFD推進（作業）委員会委員が整理し、学部教授会に提出して審議している。なお健康科学部は平成29年度が開設1年目ということもあり、教授会における審議のほとんどをカリキュラムの忠実な履行とその改善策の構築に費やし、講師招聘等による特別な研修会は開催しなかった。心理学科、健康栄養学科の定例の学科会議においては、その折々の学科の抱える課題を解決してきた。

b 実施方法

全学的なFD・SD研修会はすべての教員が参加しやすいように定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行う。またFD・SD研修会では、報告者を工夫することで大学を構成する各部局がその取り組みを共有できるようにしている。健康科学部FD推進(作業)委員会によって整理された検討事項は教授会において審議している。また心理学科、健康栄養学科の各会議も定例教授会の終了後に連続して開催し、さらに参加者全員が議事録を共有することで教育・研究に関わる学科での取り組みを常に確認できるようにしている。

○ 開催状況(教員の参加状況含む)

〈全学〉

・FD・SD研修会

年3～4回開催。平成30年度は、現時点で、第1回「私立大学等経常費補助金について(仮題)」(6月13日)、第2回「修大カフォーラム(予定)」(8月3日)、第3回「テーマは調整中」(10月10日)の開催が決定している。平成29年度は以下の通りであった。

第1回「第二期認証評価からの7年間を振りかえって」

(6月14日開催 参加者数: 教員134名、職員74名)

第2回「修道カフォーラム一点検・評価にみる広島修道大学」

(8月4日開催 参加者数: 教員142名、職員125名)

第3回「ICTを活用した授業実践報告」「FD推進ワークショップ参加報告」

(11月22日開催 参加者数: 教員130名、職員77名)

・教育力アップセミナー(新任教員対象)

平成29年度

「広島修道大学の教育課題—学びの道を整える大学として—」

「学び方の個性を知—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

「違いから学ぼう—広島修道大学の抱える教育課題の解決に向けて—」

(8月25日開催 参加者数: 教員9名、職員11名)

・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。平成30年度は5月22日から6月20日までを公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成29年度は、100名の教員が167クラスで公開授業を実施し、延べ144名の教員が参加をして授業研究を行った。なお健康科学部における公開授業の実施は教員15名、30クラスであった。

〈健康科学部〉

平成29年度のFD推進委員会のテーマは以下の通りであった。

第1回「FD推進委員会の運営について」(5月17日開催 参加者数: 20名): 広島修道大学健康科学部FD推進委員会規定の原案を示し、制定の趣旨・内容を説明し、審議の後規定を承認した。

第2回「第3期認証評価について」(9月13日開催 参加者数: 29名): 平成30年度に大学基準協会による第三者評価を受けることから、第三者評価の意義、評価項目並びにその記載内容の原案を示し、意見交換を行った。

なお健康科学部は平成29年度が開設1年目ということもあり、教授会における審議のほとんどをカリキュラムの忠実な履行とその改善策の構築に費やし、講師招聘等による特別な研修会は開催しなかった。平成30年度も引き続きカリキュラムの忠実な履行に努め、その中で発生する諸問題について教員相互で検証・議論しながらFD研修の一環として問題解決に当たりたい。

〈心理学科・健康栄養学科〉

各学科会議において教学や学生指導上の問題点を整理・検討してきたが、今年度も同様に各学科会議がその種の重要な役割を担う。

なお心理学科では、平成23年度から28年度のカリキュラムをもとに作成したCan-doリスト、すなわち学習者が身につけるべき能力リストを調査項目として、本学心理学科の学生が4年間でどの程度向上したかの調査を実施し(調査時期は平成27年1月～2月)、平成29年末にその調査結果を取りまとめることによって、多くの項目で学年進行に伴いその得点が上昇することを確認した(中西大輔「心理学専攻(2001カリキュラム)における教育成果指標としての can-do リストの開発」、広島修道大学健康科学研究第1巻(平成30年2月)、51-63)。本年度も引き続き調査を実施しながら、平成29年度からの新カリキュラムに対応したCan-doリストを作成し、今後のFD事業の一環として教育成果測定に取り組んでいく。

また健康栄養学科では、平成29年度より完成年度における管理栄養士国家試験の受験対策を始めているが、平成30年度はそのシステム化に努める。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFDでは、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。健康科学部教授会及び各学科における学科会議は、まさに日々の教育に直結する内容ばかりであり、各教員が自らの教育指導に反映させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回(前期・後期)定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成29年度は通年で369名の教員が実施し(専任教員の実施率は99.5%)、一人あたりの平均実施科目数は3.25科目であった。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、本人のみならず学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

・科目分類別の授業アンケート集計表

・実施集計表(学部単位の実施者数および率)

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康科学部は、中央教育審議会答申が「我が国の高等教育の将来像」（平成17年1月28日）で掲げた機能のうち、第一に「高度専門職業人養成」の機能を担い、心理学科では臨床心理士・公認心理師等の心理カウンセラー、健康栄養学科では管理栄養士及び栄養士を養成し、併せて「幅広い職業人養成」の機能を担うことにより、児童心理司、心理判定員、社会福祉主事、食品衛生管理者、食品衛生監視員、高等学校（公民）教諭、栄養教諭等を養成することを目的として設置された。また、以上のような人材を社会に送り出すことによって「社会貢献（地域貢献）機能」をも担う。

設置1年目の平成29年度は、健康科学部並びに心理学科、健康栄養学科のそれぞれの設置趣旨・目的について、入学時の教学センターガイダンス、学科教員ガイダンス、チューターガイダンス、更には学科基礎科目等で折に触れてしっかりと学生に認識させながら履修指導を行うとともに、健康科学部設置趣意書に記載した両学科のカリキュラムを着実に履行した。その結果、平成29年度生（1期生）の成績は、心理学科84名のSA平均2.54、健康栄養学科77名のSA平均2.18となり、両学科ともに教育目標に沿った教育体制が順調に滑り出したと考えている。

さらに平成30年度入試では、心理学科では定員80名に対して全ての入試制度における志願者数が651名（平成29年度入試770名）とやや減少したものの84名が入学した。一方の健康栄養学科では、入学定員80名に対して全入試制度における志願者数402名（平成29年度入試279名）と大幅に増加し87名が入学した。今後は入学定員の厳格化を遵守しながら、健康科学部並びに心理学科、健康栄養学科それぞれの設置趣旨・目的を体現するために編成されたカリキュラムを着実に履行し、健康栄養学科においては完成年度に向けて国家試験受験対策システムを整備し、さらには大学教職員一体となつての広報活動を展開することによって本学部存在意義を引き続き世に問うていきたい。

なお心理学科においては、公認心理師国家試験の受験に必要なカリキュラムが平成29年6月に公表されたことを受け、設置趣意書に記載した科目とその内容についての点検を本学大学院人文科学研究科心理学専攻と協働して直ちに実施し、学部と大学院カリキュラムにおける複数科目の追加と科目名称の変更を大学評議会に上申して承認を得た。その結果を以て平成30年3月に「開講科目確認書」を文部科学省並びに厚生労働省に提出した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年8月1日 公表

b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、「その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」とし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』（平成5年～）、『広島修道大学白書』（平成11年度～）、『広島修道大学の現況』（平成21年度～）として刊行し、社会に公開している。また、大学Webサイトでも同様の情報公開を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度に大学基準協会の第三者認証評価を受け、適合と判定されている。本年平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受けることとしている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(2018 年 7 月 1 日)

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人修道学園

(2) 大 学 名

広島修道大学

(3) 大学の位置

〒731-3195
広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学 長	(イチカワ タイチ) 市川 太一 (平成22年4月1日)	(ミカミ タカノリ) 三上 貴教 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)
学 部 長	(マスダ ヒサシ) 増田 尚史 (平成29年4月1日)	(フルミツ イサト) 古満 伊里 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)
学科長等	(ヤマウチ アリノブ) 山内 有信 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合（平成30年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 健康栄養学科 学士(栄養学)	家政関係	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 — (—) [—]	人 80 (—) [—]	人 — (—) [—]	1.03倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	279 (—) [—]	— (—) [—]	402 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	278 (—) [—]	— (—) [—]	398 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	198 (—) [—]	— (—) [—]	219 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	79 (—) [—]	— (—) [—]	87 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	—		—		0.98		1.08			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について **外数** で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	79 [0] (－)	－ [ー] (－)	87 [0] (－)	－ [ー] (－)	
2 年次			－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	79 [0] (－)	－ [ー] (－)	
3 年次					－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	
4 年次							－ [ー] (－)	－ [ー] (－)	
計			－ [ー] (ー)				－ [ー] (ー)		

(注) ・ 数字は、平成 3 0 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。

・ [] 内には、留学生の状況について **内数で** 記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	79 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	169 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	248 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{79} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{169} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康科学部 健康栄養学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全 学 共 通 科 目	修大基礎講座	1①		2		3					
	初年次セミナー	1②		2		2					
	情報処理入門Ⅰ	1前	2								2
	情報処理入門Ⅱ(情報と表現)	1・2通		2							6
	情報処理入門Ⅱ(情報と分析)	1・2通		2							6
	大学生生活とキャリア形成	2前		2							3
	地域イノベーション論	1・2通		2							1
	地域コミュニケーション論	1・2通		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のコミュニケーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のコミュニケーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創特講 (ファシリテーション入門)	1・2③		1							1
	ひろしま未来協創特講 (ワークショップ・スキル入門)	1・2②		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・中山間)	1・2④		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・都心)	1・2③		1							1
	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、 広島・ヒロシマを学ぶ)	2前		2							4
留 学 生 教 育 科 目	日本語Ⅰ	1・2前		1							1
	日本語Ⅱ	1・2後		1							1
	日本語Ⅲ	1・2前		1							1
	日本語Ⅳ	1・2後		1							1
	日本語Ⅴ	1・2前		1							1
	日本語Ⅵ	1・2後		1							1
	日本語Ⅶ	1・2前		1							1
	日本語Ⅷ	1・2後		1							1
	アカデミック日本語	1・2通		2							1
	ビジネス日本語	1・2通		2							1
	日本研究	1・2通		2							1
留 学 支 援 教 育 科 目	留学スタートアップ	1・2通		1							1
	留学英語入門	1・2通		2							1
	英語圏留学入門	1・2通		1							1
	アジア圏留学入門	1・2通		1							1
	外国語としての日本語	1・2通		2							1
	留学フォローアップ	1・2通		1							1
	グローバル特講Ⅰ	1通		2							1
	グローバル特講Ⅱ	1通		1							1
	グローバル特講Ⅲ	2通		2							1
	グローバル特講Ⅳ	2通		2							1
国 際 共 修 科 目	Multicultural Project	1・2通		2							1
	多文化交流プロジェクト	1・2通		2							1

【平成30年度】

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全 学 共 通 科 目	修大基礎講座	1①		2		3					
	初年次セミナー	1②		2		2					
	情報処理入門Ⅰ	1前	2								3
	情報処理入門Ⅱ(情報と表現)	1・2通		2							4
	情報処理入門Ⅱ(情報と分析)	1・2通		2							5
	情報応用(情報セキュリティ)	2・3		2							1
	大学生生活とキャリア形成	2前		2							3
	地域イノベーション論	1・2通		2							1
	地域コミュニケーション論	1・2通		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のコミュニケーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のコミュニケーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創特講 (ファシリテーション入門)	1・2③		1							1
	ひろしま未来協創特講 (ワークショップ・スキル入門)	1・2②		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・中山間)	1・2④		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・都心)	1・2③		1							1
	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、 広島・ヒロシマを学ぶ)(未開講)	2前		2							4
留 学 生 教 育 科 目	日本語Ⅰ	1・2前		1							3
	日本語Ⅱ	1・2後		1							3
	日本語Ⅲ	1・2前		1							3
	日本語Ⅳ	1・2後		1							3
	日本語Ⅴ	1・2前		1							3
	日本語Ⅵ	1・2後		1							3
	日本語Ⅶ	1・2前		1							3
	日本語Ⅷ	1・2後		1							3
	アカデミック日本語	1・2前		2							1
	ビジネス日本語	1・2後		2							1
	日本研究(日本の政治)	1・2前		2							1
留 学 支 援 教 育 科 目	留学スタートアップ	1・2通		1							1
	留学英語入門(TOEFL/IELTS)	1・2通		2							1
	留学英語入門(海外生活Ⅰ)	1・2前		2							1
	留学英語入門(海外生活Ⅱ)	1・2後		2							1
	英語圏留学入門	1・2通		1							2
	アジア圏留学入門	1・2通		1							1
	外国語としての日本語	1・2通		2							1
	留学フォローアップ	1・2通		1							1
	グローバル特講Ⅰ	1前		2							2
	グローバル特講Ⅱ	1④		1							1
	グローバル特講Ⅲ	2前		1							1
国 際 共 修 科 目	グローバル特講Ⅳ	3・4通		2							1
	海外研修A	1～4		1							
	海外研修B	1～4		2							
	海外研修C	1～4		3							
	海外研修D	1～4		4							
	海外研修E	1～4		5							
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese SocietyⅠ)	1・2③		2							1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese SocietyⅡ)	1・2③		2							1
	Multicultural Project (Japanese Culture in Hospitality and Service)	1・2④		2							1
	Multicultural Project (Images of Japan in Western Cinema)	1・2④		2							1
	Multicultural Project (Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2④		2							1
多 文 化 交 流 プ ロ ジ ェ ク ト	多文化交流プロジェクト(多文化理解)	1・2前		2							1
	多文化交流プロジェクト(地方の魅力)	1・2前		2							1
	多文化交流プロジェクト(広島再発見)	1・2後		2							1
	多文化交流プロジェクト(広島再発見)	1・2③		2							1
	多文化交流プロジェクト(現代の社会)	1・2後		2							1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目	哲学	1・2前		2							1
	倫理学	1・2後		2							1
	美学	1・2前		2							1
	芸術学	1・2前		2							2
	日本文学	1・2前		2							1
	西洋文学	1・2前		2							2
	日本語学	1・2前		2							1
	心理学	1③・④		2		3	1	1			
	文化論	1・2前		2							2
	文化人類学	1・2前		2							1
	日本史	1・2前		2							2
	東洋史	1・2前		2							1
	西洋史	1・2前		2							2
	地理学	1・2前		2							2
	社会学	1・2前		2							1
	法学	1・2前		2							1
	政治学	1・2前		2							1
	経済学	1・2前		2							1
	統計学	1・2前		2							1
	情報社会論	1・2前		2							1
	物理学	1・2後		2							1
	化学	1・2通		2							1
	生物学	1・2通		2							1
	環境科学	1・2通		2							1
	数学	1・2前		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の美術)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の音楽)	1・2後		2							1
	教養講義(江戸文学)	1・2後		2							1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2後		2							1
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2後		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(西欧近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋中近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(生活の中の地理学)	1・2後		2							1
	教養講義(社会学のものの考え方と考え方)	1・2後		2							1
	教養講義(現代経済学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用統計学)	1・2後		2							1
	教養講義(情報環境論)	1・2後		2							1
	教養講義(ヒトの生命科学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用数学)	1・2後		2							1
	教養講義(現代心理学の展開)	1③		2				1			
	教養講義(社会と政治)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(終末期医療と倫理)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(江戸時代の化粧・結髪)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代日本語の特質)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(英語と日本語)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ことばと社会)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ピアノ講座)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(歴史と社会)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(日本の社会および経済の文化政策)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ベシッ・ファイナンス)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(コーポレートファイナンス入門)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(働く人のための経営学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会と企業)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会とマーケティング)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(家族と法)	1・2後		2							2
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会と企業法)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(国際社会と法)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(生命の化学)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(病気の生物学)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(大気環境問題と生態系)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(生物多様性保全の環境問題)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(自然環境と災害)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(芸術文化学)	2通		2							1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目	哲学	1・2前		2							1
	倫理学	1・2後		2							1
	美学	1・2前		2							1
	芸術学	1・2前		2							1
	日本文学	1・2前		2							1
	西洋文学	1・2後		2							1
	日本語学	1・2前		2							1
	心理学	1通		2				1			
	文化論	1・2後		2							2
	文化人類学	1・2前		2							1
	日本史	1・2前		2							2
	東洋史	1・2前		2							1
	西洋史	1・2前		2							1
	地理学	1・2後		2							1
	社会学	1・2前		2							1
	法学	1・2前		2							1
	政治学	1・2の		2							1
	経済学	1・2後		2							3
	統計学	1・2前		2							1
	情報社会論	1・2の		2							1
	物理学	1・2後		2							1
	化学	1・2通		2							1
	生物学	1・2後		2							1
	環境科学	1・2通		2							1
	数学	1・2前		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の美術)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の音楽)(未開講)	1・2後		2							1
	教養講義(江戸文学)	1・2後		2							1
	教養講義(ドイツ文学)(未開講)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2後		2							1
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2後		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋中近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(生活の中の地理学)	1・2後		2							1
	教養講義(社会学のものの考え方と考え方)	1・2後		2							1
	教養講義(現代経済学)	1・2後		2							2
	教養講義(応用統計学)	1・2後		2							1
	教養講義(情報環境論)	1・2の		2							1
	教養講義(ヒトの生命科学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用数学)	1・2後		2							1
	教養講義(現代心理学の展開)	1後		2			1				
	教養講義(社会と政治)(未開講)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(終末期医療と倫理)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(江戸時代の化粧・結髪)	1・2前		2							1
総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(現代日本語の特質)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(英語と日本語)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(ことばと社会)	1・2前		2							1	
総合教養講義a(ピアノ講座)	1・2通		2							1	
総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(教育文化論)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(歴史と社会)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(現代日本社会の諸相)(未開講)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(日本の社会および経済の文化政策)	1・2前		2							1	
総合教養講義a(ベシッ・ファイナンス)	1・2前		2							1	
総合教養講義a(コーポレートファイナンス入門)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(働く人のための経営学)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(現代社会と企業)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(現代社会とマーケティング)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(家族と法)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(現代社会と企業法)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(国際社会と法)	1・2前		2							1	
総合教養講義a(情報と社会)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(生命の化学)	1・2前		2							1	
総合教養講義a(病気の生物学)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(大気環境問題と生態系)	1・2通		2							1	
総合教養講義a(生物多様性保全の環境問題)	1・2通		2							1	
総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後		2							1	
総合教養講義a(芸術文化学)	2前		2								

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後		2							1
	総合教養講義b(和紙)	2後		2							1
	総合教養講義b(マスコミ論)	2後		2							1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後		2							1
	総合教養講義b(労働問題と法)	2後		2							1
	総合教養講義b(国際理解)	2前		2							1
	総合教養講義b(生命情報論)	2前		2							1
	総合教養コース(世界の言語と文化)	1・2前		2							12
	総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2通		2							3
外国語科目 英語科目	英語リスニングⅠ	1前		1							4
	英語リスニングⅢ	1前		1							2
	英語リスニングⅤ	1前		1							1
	英語リスニングⅡ	1後		1							4
	英語リスニングⅣ	1後		1							2
	英語リスニングⅥ	1後		1							1
	英語リーディングⅠ	1前		1							4
	英語リーディングⅢ	1前		1							2
	英語リーディングⅤ	1前		1							1
	英語リーディングⅡ	1後		1							4
	英語リーディングⅣ	1後		1							2
	英語リーディングⅥ	1後		1							1
	実用英語実習Ⅰ	1・2前		1							1
	実用英語実習Ⅱ	1・2後		1							1
	英語ライティング研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語ライティング研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語ライティング研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語ライティング研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語読解研究Ⅰ	1・2前		2							4
	英語読解研究Ⅱ	1・2後		2							4
	英語読解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語読解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語聴解研究Ⅰ	1・2前		2							3
	英語聴解研究Ⅱ	1・2後		2							3
	英語聴解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語聴解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語聴解研究Ⅰ	1・2前		2							3
	英語聴解研究Ⅱ	1・2後		2							3
	英語聴解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語聴解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1・2前		2							3
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1・2後		2							3
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1・2前		2							2
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1・2後		2							2
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1・2前		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1・2後		2							1
	英語語法研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語語法研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語語法研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語語法研究Ⅳ	1・2後		2							1
	資格英語研究Ⅰ	1・2前		2							5
	資格英語研究Ⅱ	1・2後		2							5
	資格英語研究Ⅲ	1・2前		2							2
	資格英語研究Ⅳ	1・2後		2							2
	資格英語研究Ⅴ	1・2前		2							1
	資格英語研究Ⅵ	1・2後		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1・2前		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1・2後		2							1
外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語Ⅲ	1前		1							1
	ドイツ語Ⅳ	1後		1							1
	フランス語Ⅰ	1前		1							1
	フランス語Ⅱ	1後		1							1
	フランス語Ⅲ	1前		1							1
	フランス語Ⅳ	1後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語Ⅲ	1前		1							1
	スペイン語Ⅳ	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							1
	中国語Ⅱ	1後		1							1
	中国語Ⅲ	1前		1							1
	中国語Ⅳ	1後		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後		1							1
	言語と文化Ⅰ(ドイツ)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(フランス)	2後		2							1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後		2						1
	総合教養講義b(和紙)	2後		2						1
	総合教養講義b(メディア論)	2前		2						1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後		2						1
	総合教養講義b(労働問題と法)	2後		2						1
	総合教養講義b(国際理解)	2前		2						1
	総合教養講義b(生命情報論)(※開講)	2前		2						1
	総合教養コース(世界の言語と文化)	1・2前		2						12
	総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2後		2						2
	外国語科目 英語科目	英語リスニングⅠ	1前		1					
英語リスニングⅢ		1前		1						1
英語リスニングⅤ		1前		1						1
英語リスニングⅡ		1後		1						3
英語リスニングⅣ		1後		1						1
英語リスニングⅥ		1後		1						1
英語リーディングⅠ		1前		1						3
英語リーディングⅢ		1前		1						1
英語リーディングⅤ		1前		1						1
英語リーディングⅡ		1後		1						3
英語リーディングⅣ		1後		1						1
英語リーディングⅥ		1後		1						1
実用英語実習Ⅰ		1・2前		1						1
実用英語実習Ⅱ		1・2後		1						1
英語ライティング研究Ⅰ		1・2前		2						2
英語ライティング研究Ⅱ		1・2後		2						2
英語ライティング研究Ⅲ		1・2前		2						2
英語ライティング研究Ⅳ		1・2後		2						2
英語読解研究Ⅰ		1・2前		2						3
英語読解研究Ⅱ		1・2後		2						3
英語読解研究Ⅲ		1・2前		2						1
英語読解研究Ⅳ		1・2後		2						1
英語聴解研究Ⅰ		1・2前		2						2
英語聴解研究Ⅱ		1・2後		2						2
英語聴解研究Ⅲ		1・2前		2						1
英語聴解研究Ⅳ		1・2後		2						1
英語コミュニケーション研究Ⅰ		1・2前		2						2
英語コミュニケーション研究Ⅱ		1・2後		2						2
英語コミュニケーション研究Ⅲ		1・2前		2						1
英語コミュニケーション研究Ⅳ		1・2後		2						1
英語コミュニケーション研究Ⅴ		1・2前		2						1
英語コミュニケーション研究Ⅵ		1・2後		2						1
英語語法研究Ⅰ		1・2前		2						2
英語語法研究Ⅱ		1・2後		2						2
英語語法研究Ⅲ		1・2前		2						1
英語語法研究Ⅳ		1・2後		2						1
資格英語研究Ⅰ		1・2前		2						6
資格英語研究Ⅱ		1・2後		2						6
資格英語研究Ⅲ		1・2前		2						2
資格英語研究Ⅳ		1・2後		2						2
資格英語研究Ⅴ		1・2前		2						1
資格英語研究Ⅵ		1・2後		2						1
英語プレゼンテーション研究Ⅰ		1・2前		2						1
英語プレゼンテーション研究Ⅱ		1・2後		2						1
外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1前		1						2
	ドイツ語Ⅱ	1後		1						2
	ドイツ語Ⅲ	1前		1						2
	ドイツ語Ⅳ	1後		1						2
	フランス語Ⅰ	1前		1						1
	フランス語Ⅱ	1後		1						1
	フランス語Ⅲ	1前		1						1
	フランス語Ⅳ	1後		1						1
	スペイン語Ⅰ	1前		1						1
	スペイン語Ⅱ	1後		1						1
	スペイン語Ⅲ	1前		1						1
	スペイン語Ⅳ	1後		1						1
	中国語Ⅰ	1前		1						2
	中国語Ⅱ	1後		1						2
	中国語Ⅲ	1前		1						2
	中国語Ⅳ	1後		1						2
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1						2
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1						2
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前		1						2
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後		1						2
	言語と文化Ⅰ(ドイツ)	2前		2						1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2後		2						1
	言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2前		2						1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2後		2						1
	言語と文化Ⅰ(フランス)	2前		2						1
	言語と文化Ⅱ(フランス)	2後		2						1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	言語と文化Ⅲ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前		2						2	2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後		2						2	2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前		2						1	1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後		2						1	1
	上級外国語Ⅰ(中国語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(中国語)	2後		2							1
保健体育科目	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2後		2							1
	健康科学論	1・2後		2							2
	運動科学論	1・2後		2							1
	健康科学演習	1・2前		2							1
	運動科学演習	1・2後		2							1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2通		1						2	2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1						2	2
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前		1						1	1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2通		1						2	2
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前		1						2	2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2通		1						2	3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2後		1						1	1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2通		1						1	1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2後		1						3	1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	言語と文化Ⅲ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前		2						2	2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後		2						2	2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前		2						1	1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後		2						1	1
	上級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2後		2							1
保健体育科目	上級外国語Ⅰ(フランス語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(フランス語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(スペイン語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(スペイン語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(中国語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(中国語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2後		2							1
	健康科学論	1・2通		2							3
	運動科学論	1・2後		2							1
	健康科学演習	1・2後		2							1
	運動科学演習	1・2後		2							1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前		1						2	2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1						1	1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前		1						1	1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康科学部総合科目	健康科学統計法	1①・②		2							2
	健康心理学	1・2②	2								1
	食行動科学	2・3③		2							1
	カウンセリング心理学	2・3②	2								1
	栄養と健康	1前		2		1					
	基礎化学	1前		2		1					
	食育入門	3前		2			1				
	地域食文化論	3後		2		1					
	スポーツ文化論	1・2前		2							1
	コミュニケーション論A	2・3前		2							1
	コミュニケーション論B	2・3後		2							1
	スポーツ社会学	2・3前		2							1
	健康科学部特別講義(生命と倫理)	1後		2							1
	インターンシップ	2・3通		2		2					1
	イノベーション・プロジェクト I (地域課題研究2019)	3・4通		2							1
	イノベーション・プロジェクト II (地域課題研究2019)	3・4後		2							1
	イノベーション・プロジェクト I (地域課題研究2020)	3・4通		2							1
	イノベーション・プロジェクト II (地域課題研究2020)	3・4後		2							1
と社会・環境	健康管理概論	1前	2			1					
	公衆衛生学	2前	2			1					
	社会福祉概論	2後	2								1
	地域包括ケア論	3前	2			1					
及び人体の構造と機能的成り立ち	生化学Ⅰ	1前	2			1					
	生化学Ⅱ	1後	2			1					
	生化学実験	2前	1			1				1	
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1					
	解剖生理学Ⅱ	1後	2			1					
	解剖生理学実験	2前	1			1				1	
	臨床医学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床医学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床医学Ⅲ	3後	2			1				1	1
食べ物と健康	食品学Ⅰ	1前	2			1					
	食品学Ⅱ(含食品加工学)	1後	2			1					
	基礎分析実験	1前	1			1				1	
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1				1	
	食品学実験Ⅱ	2前	1			1					
	食品加工学実習	3前	1			1				1	
	食品衛生学	1後	2			1					
	食品衛生学実験	2前	1			1				1	
	調理学	1前	2			1					
	調理学実習Ⅰ	1前	1			1				1	
	調理学実習Ⅱ	1後	1			1				1	
	調理学実習Ⅲ	2前	1			1				1	
栄養学	基礎栄養学	1後	2			1					
	栄養生理学実験	2後	1			1				1	
応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2前	2				1				
	応用栄養学Ⅱ	2後	2				1				
	応用栄養学Ⅲ	3前	2				1				
	応用栄養学実習	3後	1				1			1	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2前	2			1					
	栄養教育論Ⅱ	2後	2			1					
	栄養カウンセリング演習	3前	2			1					
	栄養教育論実習	3後	1			1				1	
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床栄養学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床栄養学Ⅲ	3前	2			1					
	臨床栄養学演習	3前	2			1					
	臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1			1				1	
	臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1			1				1	
栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2後	2			1					
	公衆栄養学Ⅱ	3前	2			1					
	公衆栄養学実習	3後	1			1				1	
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	1後	2			1					
	給食経営管理論Ⅱ	2前	2			1					
	給食経営管理実習Ⅰ(学内)	2後	1			1				2	
	給食経営管理実習Ⅱ(地域配食)	2後	1			1				2	
演習	総合栄養演習Ⅰ	3通	2			4					
	総合栄養演習Ⅱ	4通		2		4					
臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	3通	1			1				1	
	臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	4通		1		1				1	
	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	4通		1		2				1	
	臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	4通		1		2				1	
	臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	4通		1		2				1	

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康科学部総合科目	心理学統計法Ⅰ	1①・②		2							2
	健康・医療心理学	1・2②	2								1
	食行動科学(未開講)	2・3③		2							1
	心理学的支援法	2・3②	2								1
	栄養と健康	1前		2		1					
	基礎化学	1前		2		1					
	食育入門	3前		2			1				
	地域食文化論	3後		2		1					
	スポーツ文化論(未開講)	1・2前		2							1
	コミュニケーション論A(未開講)	2・3前		2							1
	コミュニケーション論B(未開講)	2・3後		2							1
	スポーツ社会学	2・3③		2							1
	健康科学部特別講義(生命と倫理)	1後		2							1
	インターンシップ	2・3通		2		2					1
	イノベーション・プロジェクト I (地域課題研究2019)	3・4通		2							1
	イノベーション・プロジェクト II (地域課題研究2019)	3・4後		2							1
	イノベーション・プロジェクト I (地域課題研究2020)	3・4通		2							1
	イノベーション・プロジェクト II (地域課題研究2020)	3・4後		2							1
と社会・環境	健康管理概論	1前	2			1					
	公衆衛生学	2前	2			1					
	社会福祉概論	2後	2								1
	地域包括ケア論	3前	2			1					
及び人体の構造と機能的成り立ち	生化学Ⅰ	1前	2			1					
	生化学Ⅱ	1後	2			1					
	生化学実験	2前	1			1				1	
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1					
	解剖生理学Ⅱ	1後	2			1					
	解剖生理学実験	2前	1			1				1	
	臨床医学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床医学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床医学Ⅲ	3後	2			1				1	1
食べ物と健康	食品学Ⅰ	1前	2			1					
	食品学Ⅱ(含食品加工学)	1後	2			1					
	基礎分析実験	1前	1			1				1	
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1				1	
	食品学実験Ⅱ	2前	1			1					
	食品加工学実習	3前	1			1				1	
	食品衛生学	1後	2			1					
	食品衛生学実験	2前	1			1				1	
	調理学	1前	2			1					
	調理学実習Ⅰ	1前	1			1				1	
	調理学実習Ⅱ	1後	1			1				1	
	調理学実習Ⅲ	2前	1			1				1	
栄養学	基礎栄養学	1後	2			1					
	栄養生理学実験	2③	1			1				1	
応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2②	2				1				
	応用栄養学Ⅱ	2後	2				1				
	応用栄養学Ⅲ	3前	2				1				
	応用栄養学実習	3後	1				1			1	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2前	2			1					
	栄養教育論Ⅱ	2後	2			1					
	栄養カウンセリング演習	3前	2			1					
	栄養教育論実習	3後	1			1				1	
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2①	2			1					
	臨床栄養学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床栄養学Ⅲ	3前	2			1					
	臨床栄養学演習	3前	2			1					
	臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1			1				1	
	臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1			1				1	
栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2後	2			1					
	公衆栄養学Ⅱ	3前	2			1					
	公衆栄養学実習	3後	1			1				1	
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	1後	2			1					
	給食経営管理論Ⅱ	2前	2			1					
	給食経営管理実習Ⅰ(学内)	2後	1			1				2	
	給食経営管理実習Ⅱ(地域配食)	2後	1			1				2	
演習	総合栄養演習Ⅰ	3通	2			4					
	総合栄養演習Ⅱ	4通		2		4					
臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	3通	1			1				1	
	臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	4通		1		1				1	
	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	4通		1		2				1	
	臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	4通		1		2				1	
	臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	4通		1		2				1	

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 発展 分野	食品機能性成分の理解	3前		2		1					
	食品微生物学	3後		2		1					
	食産業の理解	3後		2		1					
	地域食産業演習	4通		2		1					
ゼミ ナール	卒業基礎ゼミ	3後	2			10	1				
	卒業ゼミ	4通	2			10	1				
	卒業年次セミナー	4通		2		10	1				
教職 に 関 する 科 目	教職入門(中等)	1前			2						1
	教育心理学(中等)	2・3後			2						1
	教育原理(中等)	1前			2						1
	教育制度論(中等)	1後			2						1
	中等道德教育論	2後			2						1
	中等特別活動論	2後			2						1
	中等教育方法論	2前			2						1
	中等生徒指導論(栄養)	2前			2						1
	中等教育相談	2後			2						1
	学校栄養教育実習事前事後指導	3・4通			1	2	1			1	
	学校栄養教育実習	4通			1	1				1	
	教職実践演習(栄養)	4後			2	2	1				1
資 格 課 程 関 連 授 業 科 目	学校栄養教育論Ⅰ	3前			2	1	1				
	学校栄養教育論Ⅱ	3後			2	1	1				1
	憲法Ⅰ	1・2前			2						2
	憲法Ⅱ	1・2後			2						2

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 発展 分野	食品機能性成分の理解	3前		2		1					
	食品微生物学	3後		2		1					
	食産業の理解	3後		2		1					
	地域食産業演習	4通		2		1					
ゼミ ナール	卒業基礎ゼミ	3後	2			10	1				
	卒業ゼミ	4通	2			10	1				
	卒業年次セミナー	4通		2		10	1				
教職 に 関 する 科 目	教職入門(中等)	1前			2						1
	教育心理学(中等)	2・3後			2						1
	教育原理(中等)	1前			2						1
	教育制度論(中等)	1後			2						1
	中等道德教育論	2後			2						1
	中等特別活動論	2後			2						1
	中等教育方法論	2前			2						1
	中等生徒指導論(栄養)	2前			2						1
	中等教育相談	2後			2						1
	学校栄養教育実習事前事後指導	3・4通			1	2	1			1	
	学校栄養教育実習	4通			1	1				1	
	教職実践演習(栄養)	4後			2	2	1				1
資 格 課 程 関 連 授 業 科 目	学校栄養教育論Ⅰ	3前			2	1	1				
	学校栄養教育論Ⅱ	3後			2	1	1				1
	憲法Ⅰ	1・2前			2						2
	憲法Ⅱ	1・2後			2						2

- (注)・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全 学 共 通 科 目	修大基礎講座	1①		2		3					
	初年次セミナー	1②		2		2					
	情報処理入門Ⅰ	1前	2								2
	情報処理入門Ⅱ(情報と表現)	1・2通		2							4
	情報処理入門Ⅱ(情報と分析)	1・2通		2							5
	大学生生活とキャリア形成	2前		2							3
	地域イノベーション論	1・2通		2							1
	地域コミュニケーション論	1・2通		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のコミュニケーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のコミュニケーショ ン)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (都心のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創特講 (ファシリテーション入門)	1・2①		1							1
	ひろしま未来協創特講 (ワークショップ・スキル入門)	1・2②		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・中山間)	1・2③		1							1
	ひろしま未来協創特講 (発見・デザイン・都心)	1・2④		1							1
	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、 広島・ヒロシマを学ぶ)	2前		2							4
留 学 生 教 育 科 目	日本語Ⅰ	1・2前		1							3
	日本語Ⅱ	1・2後		1							2
	日本語Ⅲ	1・2前		1							3
	日本語Ⅳ	1・2後		1							3
	日本語Ⅴ	1・2前		1							2
	日本語Ⅵ	1・2後		1							3
	日本語Ⅶ	1・2前		1							3
	日本語Ⅷ	1・2後		1							2
	アカデミック日本語	1・2通		2							1
	ビジネス日本語	1・2通		2							1
	日本研究(日本の政治)	1・2通		2							1
	日本研究(日本の民俗)	1・2通		2							1
留 学 支 援 教 育 科 目	留学スタートアップ	1・2通		1							1
	留學英語入門(TOEFL/IELTS)	1・2通		2							1
	英語圏留学入門	1・2通		1							2
	アジア圏留学入門	1・2通		1							1
	外国語としての日本語	1・2通		2							1
	留学フォローアップ	1・2通		1							1
	グローバル特講Ⅰ	1通		2							2
	グローバル特講Ⅱ	1通		1							1
	グローバル特講Ⅲ	2通		1							1
	グローバル特講Ⅳ	2通		2							1
	海外研修A	1～4		1							
	海外研修B	1～4		2							
	海外研修C	1～4		3							
	海外研修D	1～4		4							
	海外研修E	1～4		5							
国 際 共 修 科 目	Multicultural Project (Popular Music in Japanese SocietyⅠ)	1・2通		2							1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese SocietyⅡ)	1・2通		2							1
	Multicultural Project (Japanese Culture in Hospitality and Service)	1・2通		2							1
	Multicultural Project (Images of Japan in Western Cinema)	1・2通		2							1
	Multicultural Project (Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2通		2							1
	多文化交差プロジェクト (多文化理解)	1・2通		2							1
	多文化交差プロジェクト (地方の魅力)	1・2通		2							1
	多文化交差プロジェクト (広島再発見)	1・2通		2							1
	多文化交差プロジェクト (日本語・日本文化セミナー)	1・2通		2							1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目	哲学	1・2前		2							1
	倫理学	1・2後		2							1
	美学	1・2前		2							1
	芸術学	1・2前		2							2
	日本文学	1・2前		2							1
	西洋文学	1・2後		2							1
	日本語学	1・2前		2							1
	心理学	1③～④		2		3	1	1			
	文化論	1・2後		2							2
	文化人類学	1・2前		2							1
	日本史	1・2前		2							2
	東洋史	1・2前		2							1
	西洋史	1・2前		2							1
	地理学	1・2前		2							2
	社会学	1・2前		2							1
	法学	1・2前		2							1
	政治学	1・2前		2							1
	経済学	1・2後		2							2
	統計学	1・2前		2							1
	情報社会論	1・2前		2							1
	物理学	1・2後		2							1
	化学	1・2通		2							1
	生物学	1・2通		2							1
	環境科学	1・2通		2							1
	数学	1・2前		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の美術)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の音楽)	1・2後		2							1
	教養講義(江戸文学)	1・2後		2							1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2後		2							1
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2後		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋中近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(生活の中の地理学)	1・2後		2							1
	教養講義(社会学のものの見方と考え方)	1・2後		2							1
	教養講義(現代経済学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用統計学)	1・2後		2							1
	教養講義(情報環境論)	1・2後		2							1
	教養講義(ヒトの生命科学)	1・2後		2							1
	教養講義(応用数学)	1・2後		2							1
	教養講義(現代心理学の展開)	1④		2				1			
	教養講義(社会と政治)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(終末期医療と倫理)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(江戸時代の化粧・結髪)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代日本語の特質)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(英語と日本語)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ことばと社会)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ピアノ講座)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(歴史と社会)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(日本の社会および世界の文化と芸術)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(ベシク・ファイナンス)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(コーポレートファイナンス入門)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(働く人のための経営学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会と企業)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会とマーケティング)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(家族と法)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(現代社会と企業法)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(国際社会と法)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(生命の化学)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(病気の生物学)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(大気環境問題と生態系)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(生物多様性保全の環境問題)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2通		2							1
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(芸術文化学)	2通		2							1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後		2							1
	総合教養講義b(和紙)	2後		2							1
	総合教養講義b(メディア論)	2後		2							1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後		2							1
	総合教養講義b(労働問題と法)	2後		2							1
	総合教養講義b(国際理解)	2前		2							1
	総合教養講義b(生命情報論)	2前		2							1
	総合教養コース(世界の言語と文化)	1・2前		2							12
	総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2通		2							4
外国語科目 英語科目	英語リスニングⅠ	1前		1							4
	英語リスニングⅢ	1前		1							1
	英語リスニングⅤ	1前		1							1
	英語リスニングⅡ	1後		1							4
	英語リスニングⅣ	1後		1							1
	英語リスニングⅥ	1後		1							1
	英語リーディングⅠ	1前		1							4
	英語リーディングⅢ	1前		1							1
	英語リーディングⅤ	1前		1							1
	英語リーディングⅡ	1後		1							4
	英語リーディングⅣ	1後		1							1
	英語リーディングⅥ	1後		1							1
	実用英語実習Ⅰ	1・2前		1							1
	実用英語実習Ⅱ	1・2後		1							1
	英語ライティング研究Ⅰ	1・2前		2							1
	英語ライティング研究Ⅱ	1・2後		2							1
	英語ライティング研究Ⅲ(未開講)	1・2前		2							1
	英語ライティング研究Ⅳ(未開講)	1・2後		2							1
	英語読解研究Ⅰ	1・2前		2							3
	英語読解研究Ⅱ	1・2後		2							3
	英語読解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語読解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語聴解研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語聴解研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語聴解研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語聴解研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1・2後		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1・2前		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1・2後		2							1
	英語語法研究Ⅰ	1・2前		2							2
	英語語法研究Ⅱ	1・2後		2							2
	英語語法研究Ⅲ	1・2前		2							1
	英語語法研究Ⅳ	1・2後		2							1
	資格英語研究Ⅰ	1・2前		2							5
	資格英語研究Ⅱ	1・2後		2							5
	資格英語研究Ⅲ	1・2前		2							2
	資格英語研究Ⅳ	1・2後		2							2
	資格英語研究Ⅴ(未開講)	1・2前		2							1
	資格英語研究Ⅵ	1・2後		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1・2前		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1・2後		2							1
外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1前		1							2
	ドイツ語Ⅱ	1後		1							2
	ドイツ語Ⅲ	1前		1							2
	ドイツ語Ⅳ	1後		1							2
	フランス語Ⅰ	1前		1							1
	フランス語Ⅱ	1後		1							1
	フランス語Ⅲ	1前		1							1
	フランス語Ⅳ	1後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語Ⅲ	1前		1							1
	スペイン語Ⅳ	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							2
	中国語Ⅱ	1後		1							2
	中国語Ⅲ	1前		1							2
	中国語Ⅳ	1後		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後		1							2
	言語と文化Ⅰ(ドイツ)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(フランス)	2後		2							1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	言語と文化Ⅲ(フランス)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅲ(中国)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(中国)	2後		2							1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前		2							2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後		2							2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前		2							1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(フランス語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(フランス語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(スペイン語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(スペイン語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(中国語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(中国語)	2後		2							1
	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2前		2							1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2後		2							1
保 健 体 育 科 目	健康科学論	1・2通		2							2
	運動科学論	1・2後		2							1
	健康科学演習	1・2後		2							1
	運動科学演習	1・2後		2							1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1							1
	健康スポーツ実習(フットバレーボール)	1・2前		1							1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2通		1							3
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前		1							2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2通		1							3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2通		1							1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2通		1							1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2通		1							2
	健康スポーツ実習(Shudo AP)	1・2後		1							1
	健康スポーツ実習(アダプテッド・スポーツ)	1・2後		1							2
	運動スポーツ実習(フットサル)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2後		1							3
	運動スポーツ実習(卓球)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(テニス)	1・2通		1							3
	運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2通		1							2
	運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2通		1							1
	運動スポーツ実習(フットサル)	1・2通		1							1
	野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	1・2前		1							3
	野外運動実習Ⅰ(スキー)	1・2後		1							3
	野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	1・2前		1							1
	野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	1・2後		1							1

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
健康科学部総合科目	健康科学統計法	1①・②		2							2
	健康心理学	1・2②	2								1
	食行動科学	2・3③		2							1
	カウンセリング心理学	2・3②	2								1
	栄養と健康	1前		2		1					
	基礎化学	1前		2		1					
	食育入門			2			1				
	地域食文化論	3後		2		1					
	スポーツ文化論	1・2前		2							1
	コミュニケーション論A	2・3前		2							1
	コミュニケーション論B	2・3後		2							1
	スポーツ社会学	2・3前		2							1
	健康科学部特別講義(生命と倫理)	1後		2							1
	インターンシップ	2・3通		2		2					1
	イノベーション・プロジェクトⅠ (地域課題研究2019)	3・4通		2							1
	イノベーション・プロジェクトⅡ (地域課題研究2019)	3・4後		2							1
	イノベーション・プロジェクトⅠ (地域課題研究2020)	3・4通		2							1
	イノベーション・プロジェクトⅡ (地域課題研究2020)	3・4後		2							1
と社会・環境	健康管理概論	1前	2			1					
	公衆衛生学	2前	2			1					
	社会福祉概論	2後	2								1
	地域包括ケア論	3前	2			1					
及び人体の構造と機能の成り立ち	生化学Ⅰ	1前	2			1					
	生化学Ⅱ	1後	2			1					
	生化学実験	2前	1			1				1	
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1					
	解剖生理学Ⅱ	1後	2			1					
	解剖生理学実験	2前	1			1				1	
	臨床医学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床医学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床医学Ⅲ	3後	2			1				1	1
食べ物と健康	食品学Ⅰ	1前	2			1					
	食品学Ⅱ(含食品加工学)	1後	2			1					
	基礎分析実験	1前	1			1				1	
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1				1	
	食品学実験Ⅱ	2前	1			1					
	食品加工学実習	3前	1			1				1	
	食品衛生学	1後	2			1					
	食品衛生学実験	2前	1			1				1	
	調理学	1前	2			1					
	調理学実習Ⅰ	1前	1			1				1	
	調理学実習Ⅱ	1後	1			1				1	
	調理学実習Ⅲ	2前	1			1				1	
栄養学	基礎栄養学	1後	2			1					
	栄養生理学実験	2後	1			1				1	
応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2前	2				1				
	応用栄養学Ⅱ	2後	2				1				
	応用栄養学Ⅲ	3前	2				1				
	応用栄養学実習	3後	1				1			1	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2前	2			1					
	栄養教育論Ⅱ	2後	2			1					
	栄養カウンセリング演習	3前	2			1					
	栄養教育論実習	3後	1			1				1	
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床栄養学Ⅱ	2後	2			1					
	臨床栄養学Ⅲ	3前	2			1					
	臨床栄養学演習	3前	2			1					
	臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1			1				1	
	臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1			1				1	
公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2後	2			1					
	公衆栄養学Ⅱ	3前	2			1					
	公衆栄養学実習	3後	1			1				1	
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	1後	2			1					
	給食経営管理論Ⅱ	2前	2			1					
	給食経営管理実習Ⅰ(学内)	2後	1			1				2	
	給食経営管理実習Ⅱ(地域配食)	2後	1			1				2	
演習総合	総合栄養演習Ⅰ	3通	2			4					
	総合栄養演習Ⅱ	4通		2		4					
臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	3通	1			1				1	
	臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	4通		1		1				1	
	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	4通		1		2				1	
	臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	4通		1		2				1	
	臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	4通		1		2				1	

	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 発展 分野	食品機能性成分の理解	3前		2		1					
	食品微生物学	3後		2		1					
	食産業の理解	3後		2		1					
	地域食産業演習	4通		2		1					
ゼミ ナール	卒業基礎ゼミ	3後	2			10	1				
	卒業ゼミ	4通	2			10	1				
	卒業年次セミナー	4通		2		10	1				
教職に 関する 科目	教職入門(中等)	1前			2						1
	教育心理学(中等)	2・3後			2						1
	教育原理(中等)	1前			2						1
	教育制度論(中等)	1後			2						1
	中等道德教育論	2後			2						1
	中等特別活動論	2後			2						1
	中等教育方法論	2前			2						1
	中等生徒指導論(栄養)	2前			2						1
	中等教育相談	2後			2						1
	学校栄養教育実習事前事後指導	3・4通			1	2	1			1	
	学校栄養教育実習	4通			1	1				1	
	教職実践演習(栄養)	4後			2	2	1				1
資格 課程 関連 授業 科目	学校栄養教育論Ⅰ	3前			2	1	1				
	学校栄養教育論Ⅱ	3後			2	1	1				1
	憲法Ⅰ	1・2前			2						2
	憲法Ⅱ	1・2後			2						2

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・情報処理科目の見直しにより、情報処理科目の名称を「情報処理入門」から「情報処理入門Ⅰ」に、「情報処理入門Ⅱ」の詳細科目名を変更。併せて担当者の見直しを実施。
- ・グローバル科目の再編により、担当者数を変更。
- ・留学生教育科目のうち、「日本研究」に詳細科目名を設定。
- ・留学支援教育科目に、留学先で取得した単位の認定科目として「海外研修A～E」を追加。
- ・国際共修科目について、詳細科目名を設定。
- ・教養科目の担当者の時間割編成により「西洋文学」「西洋史」「経済学」「総合教養講義a（家族と法）」「総合教養コース（情報化社会と人間）」の担当者数を変更。
- ・外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な英語科目の担当者数を変更。
- ・初修外国語の上級クラスを充実させるため、ドイツ語、フランス語、スペイン語に上級科目を設置。それにより、クラス担当者数を変更。
- ・保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。

【平成30年度】

- ・少人数クラスにするため「情報処理入門Ⅰ」の担当者を「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・交換留学生のクラス充実のため「日本語Ⅱ」「日本語Ⅴ」「日本語Ⅷ」のクラスを増設、「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・グローバルコース履修者への授業充実を図るため、「グローバル特講Ⅰ」を「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・兼任の退職により、「芸術学」「地理学」が「兼任1、兼任1」から「兼任1」に変更。
- ・兼任の採用により、「経済学」「教養講義」が「兼任2」から「兼任2、兼任1」に変更、教養講義（現代経済学）が「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・科目担当者の時間割調整により、「総合教養コース（情報化社会と人間）」が「兼任4」から「兼任2」に変更。
- ・外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な英語科目の担当者数を変更。
- ・保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
55 科目	275 科目	16 科目	346 科目	55 科目 [0]	281 科目 [6]	16 科目 [0]	352 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2	2	一般	選択	担当者の退職により、平成30年度未開講。
2	教養講義(西洋の音楽)	2	1・2	一般	選択	担当者の退職により、平成30年度未開講。
3	教養講義(ドイツ文学)	2	1・2	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成30年度未開講。
4	教養講義(社会と政治)	2	1・2	一般	選択	担当者の退職により、平成30年度未開講。
5	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	2	1・2	一般	選択	担当者の退職により、平成30年度未開講。
6	総合教養講義b(生命情報論)	2	2	一般	選択	担当者が病氣療養中のため。
7	食行動科学	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
8	スポーツ文化論	2	1・2	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
9	コミュニケーション論A	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
10	コミュニケーション論B	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教養講義(西欧近代史)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
2	総合教養講義a(自然環境と災害)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
3	健康スポーツ実習(ボディアーク)	1	1・2	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により、平成29年度以降廃止。
4	健康スポーツ実習(フットサル)	1	1・2	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により、平成29年度以降廃止。
5	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1	1・2	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により、平成29年度以降廃止。
6	運動スポーツ実習(ダンス)	1	1・2	一般	選択	全学的な保健体育科目の調整により、平成29年度以降廃止。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通科目の教養科目については、詳細付の科目であり、担当者によって変遷する。
専門科目は隔年で開講されるため、次年度開講予定。
学生への周知は、シラバスの配当表をホームページに掲載しているほか、ガイダンスにおいても履修に際しての注意事項として喚起している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{16}{346} = \boxed{4.62} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	36,805㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡				
	運動場用地	101,957㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡				
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡				
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡				
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建築計画と登記上の 誤差による。(29)			
		70,640㎡ 70,746㎡ (70,640㎡) -(70,746㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	70,640㎡ 70,746㎡ (70,640㎡) -(70,746㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室 98室 100室	演 習 室 17室 20室	実験実習室 65室	情報処理学習施設 18室 (補助職員 一人)	語学学習施設 7室 8室 (補助職員 一人)	大学全体 利用計画の変更によ る。(29)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		健康科学部 健康栄養学科			12 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 実績に基づき変更 (30)	
	健康科学部 健康栄養学科	891,349[237,194] 887,652[239,007] 942,647[242,562] (870,349[234,634]) (849,122[232,467]) (906,647[236,022])	5,876[2,554] 5,663[2,500] 5,787[2,531] (5,876[2,554]) (5,663[2,500]) (5,787[2,531])	13,227[13,167] 12,918[12,298] 12,403[12,352] (13,227[13,167]) (12,918[12,298]) (12,403[12,352])	23,712 22,900 22,606 (23,372) (22,390) (22,096)	()	()		
	計	891,349[237,194] 887,652[239,007] 942,647[242,562] (870,349[234,634]) (849,122[232,467]) (906,647[236,022])	5,876[2,554] 5,663[2,500] 5,787[2,531] (5,876[2,554]) (5,663[2,500]) (5,787[2,531])	13,227[13,167] 12,918[12,298] 12,403[12,352] (13,227[13,167]) (12,918[12,298]) (12,403[12,352])	23,712 22,900 22,606 (23,372) (22,390) (22,096)	()	()		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 増席(29)	
		11,700㎡		952 948		1,200,000			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		8,871㎡		屋内プール1面 野球場1面		陸上競技場1面 アーチェリー場1面			
(8)経費の見積り及び 維持方法 の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	10,714千円 10,708千円	2,626千円 3,858千円	9,396千円	図書費には電子 ジャーナル・デー タベース整備費(運用コ スト含む)を含む。
		共同研究費等	600千円 1,000千円	1,000千円	設備購入費	283,999千円 270,332千円	2,259千円 2,149千円	15,891千円	開設前年度事業終了 に伴う執行額確定の ため。(29)
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	開設年度事業終了に 伴う執行額確定の ため。(30)	
		1,340千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大 学 の 名 称	広 島 修 道 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均 入学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
商学部	年	人	年次 人	人		倍			
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.10	昭和35年度	広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号	
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.13	昭和38年度	同上	
経済科学部									
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.12	平成9年度	同上	
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.11	平成9年度	同上	
人文学部									
人間関係学科	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上	
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成29年より 学生募集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上	
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上	平成28年より 学生募集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.00	平成28年度	同上	
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.17	昭和48年度	同上	
法学部									
法律学科	4	195	—	780	学士 (法学)	1.10	昭和51年度	同上	
国際政治学科	4	—	—	—	学士 (国際政治学)	—	平成2年度	同上	平成30年より 学生募集停止
人間環境学部									
人間環境学科	4	115	—	460	学士 (人間環境学)	1.12	平成14年度	同上	
健康科学部									
心理学科	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.05	平成29年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	1.03	平成29年度	同上	
国際コミュニティ学部									
国際政治学科	4	75	—	300	学士 (国際政治学)	1.12	平成30年度	同上	
地域行政学科	4	75	—	300	学士 (地域行政学)	1.10	平成30年度	同上	
商学研究科									
商学専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.18	昭和46年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.00	昭和48年度	同上	
経営学専攻									
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.62	昭和52年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00	昭和52年度	同上	
経済科学研究科									
現代経済システム専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.00	平成15年度	同上	

経済情報専攻								
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00	平成15年度	同上
人文科学研究科								
心理学専攻								
博士前期課程	2	14	—	28	修士 (心理学)	0.60	昭和53年度	同上
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.50	昭和56年度	同上
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.10	昭和59年度	同上
英文学専攻								
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.40	昭和53年度	同上
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和56年度	同上
法学研究科								
法学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.00	昭和56年度	同上
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0.25	平成6年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

「5教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

6 留意事項等に対する履行状況等

＜健康科学部 健康栄養学科＞

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年10月)	1. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 完成年度後に教育・研究の水準を落とすことなく、年齢・職位の点で適正な教員組織編成に速やかに移行するために、完成年度前に本学規程に定める退職年齢を超える専任教員5名のうち、適格者が少ないことが予想される4名（「臨床医学Ⅰ」「食品学Ⅰ」「調理学」「公衆栄養学Ⅰ」の各担当教員）の後任教員人事については、退職年度の前年度に公募を開始し時間をかけて選考することにした。	未履行 左記の4名の後任人事の公募案を検討するとともに、残り1名が担当している「生化学Ⅰ」等の科目担当として、現有の他の専任教員が適格と認められるように業績を積むことを促す。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	健康科学部健康栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見 健康科学部健康栄養学科における完成年度後の適正な教員組織編成を検討するために、平成30年4月23日に開催された大学運営会議での承認を以って、学部長をリーダーとして5名の構成員（健康科学部教授4名及び総務部長）から成る「健康科学部教員組織編成の将来構想検討ワーキンググループ」を設置した。設置期間は平成30年4月23日から平成31年3月31日とし、当該ワーキンググループを中心として本年度内に後任人事の検討に着手する。	未履行 完成年度前に本学規程に定める退職年齢を超える専任教員5名のうち、適格者が少ないことが予想される4名（「臨床医学Ⅰ」「食品学Ⅰ」「調理学」「公衆栄養学Ⅰ」の各担当教員）の後任人事については、完成年度後の教員組織が適正となるようにその年齢・職位を勘案しながら、本年9月末を目途に公募要領を作成する。また残り1名が担当している「生化学Ⅰ」等の科目担当として、現有の他の専任教員による担当が適格と認められるように当該教員に対して業績を積むことを引き続き促す。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜健康科学部 健康栄養学科＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該 当 な し	該 当 な し

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

広島修道大学FD・SD規定に基づき、全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学大学運営会議で審議する。各学部、研究科については、それぞれFD推進（作業）委員会を組織している。健康科学部にも健康科学部FD作業委員会が設置されている。また、健康科学部心理学科及び健康栄養学科は、教育内容、教育方法等の改善を図るために、それぞれに学科会議を開催してFD活動を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

＜大学運営会議＞

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。平成30年度も4月16日の大学運営会議の議題「平成30年度研修計画について」で平成29年度の研修実施実績報告と平成30年度の研修計画が承認された。

＜健康科学部FD推進（作業）委員会＞

年に2回以上開催しており、健康科学部専任教員及び学部担当教務職員が参加する。

＜学科会議＞

心理学科、健康栄養学科のそれぞれが毎月定例で開催しており、各学科の専任教員がすべて参加する。

c 委員会の審議事項等

＜大学運営会議＞

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

＜健康科学部FD推進委員会＞

1. カリキュラム・授業科目の構成について
2. 授業科目のシラバス・授業計画の内容について
3. 授業の方法について
4. 履修指導について
5. 厳正で客観的な成績評価方法について
6. 成績評価結果の告知方法について
7. 進級制度及び進級認定について
8. 最終試験及び卒業認定について
9. 資格取得について
10. 授業アンケートについて
11. その他必要な事項について

＜学科会議＞

1. 各学科におけるカリキュラム・授業科目の構成について
2. 各学科における授業科目のシラバス・授業計画の内容について
3. 各学科における授業の方法について
4. 各学科における履修指導について
5. 各学科に関連する校務分掌について
6. 一般入試における指定科目の検討並びに推薦入試の出題内容について
7. オープンキャンパスの内容並びに担当者について
8. 学科予算について
9. 学科事業計画について
10. その他必要な事項について

② 実施状況

a 実施内容

全学では、教員の資質向上のために、大学改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目指したFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目指した組織的な公開授業等を行っている。健康科学部では、カリキュラム、成績評価、授業の方法等について、心理学科、健康栄養学科に共通する課題を予めFD推進（作業）委員会委員が整理し、学部教授会に提出して審議している。なお健康科学部は平成29年度が開設1年目ということもあり、教授会における審議のほとんどをカリキュラムの忠実な履行とその改善策の構築に費やし、講師招聘等による特別な研修会は開催しなかった。心理学科、健康栄養学科の定例の学科会議においては、その折々の学科の抱える課題を解決してきた。

b 実施方法

全学的なFD・SD研修会はすべての教員が参加しやすいように定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行う。またFD・SD研修会では、報告者を工夫することで大学を構成する各部署がその取り組みを共有できるようにしている。健康科学部FD推進(作業)委員会によって整理された検討事項は教授会において審議している。また心理学科、健康栄養学科の各会議も定例教授会の終了後に連続して開催し、さらに参加者全員が議事録を共有することで教育・研究に関わる学科での取り組みを常に確認できるようにしている。

○ 開催状況(教員の参加状況含む)

〈全学〉

・FD・SD研修会

年3～4回開催。平成30年度は、現時点で、第1回「私立大学等経常費補助金について(仮題)」(6月13日)、第2回「修大カフォーラム(予定)」(8月3日)、第3回「テーマは調整中」(10月10日)の開催が決定している。平成29年度は以下の通りであった。

第1回「第二期認証評価からの7年間を振りかえって」

(6月14日開催 参加者数: 教員134名、職員74名)

第2回「修道カフォーラム一点検・評価にみる広島修道大学」

(8月4日開催 参加者数: 教員142名、職員125名)

第3回「ICTを活用した授業実践報告」「FD推進ワークショップ参加報告」

(11月22日開催 参加者数: 教員130名、職員77名)

・教育力アップセミナー(新任教員対象)

平成29年度

「広島修道大学の教育課題—学びの道を整える大学として—」

「学び方の個性を知—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

「違いから学ぼう—広島修道大学の抱える教育課題の解決に向けて—」

(8月25日開催 参加者数: 教員9名、職員11名)

・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。平成30年度は5月22日から6月20日までを公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成29年度は、100名の教員が167クラスで公開授業を実施し、延べ144名の教員が参加をして授業研究を行った。なお健康科学部における公開授業の実施は教員15名、30クラスであった。

〈健康科学部〉

平成29年度のFD推進委員会のテーマは以下の通りであった。

第1回「FD推進委員会の運営について」(5月17日開催 参加者数: 20名): 広島修道大学健康科学部FD推進委員会規定の原案を示し、制定の趣旨・内容を説明し、審議の後規定を承認した。

第2回「第3期認証評価について」(9月13日開催 参加者数: 29名): 平成30年度に大学基準協会による第三者評価を受けることから、第三者評価の意義、評価項目並びにその記載内容の原案を示し、意見交換を行った。

なお健康科学部は平成29年度が開設1年目ということもあり、教授会における審議のほとんどをカリキュラムの忠実な履行とその改善策の構築に費やし、講師招聘等による特別な研修会は開催しなかった。平成30年度も引き続きカリキュラムの忠実な履行に努め、その中で発生する諸問題について教員相互で検証・議論しながらFD研修の一環として問題解決に当たりたい。

〈心理学科・健康栄養学科〉

各学科会議において教学や学生指導上の問題点を整理・検討してきたが、今年度も同様に各学科会議がその種の重要な役割を担う。

なお心理学科では、平成23年度から28年度のカリキュラムをもとに作成したCan-doリスト、すなわち学習者が身につけるべき能力リストを調査項目として、本学心理学科の学生が4年間でどの程度向上したかの調査を実施し(調査時期は平成27年1月～2月)、平成29年末にその調査結果を取りまとめることによって、多くの項目で学年進行に伴いその得点が上昇することを確認した(中西大輔「心理学専攻(2001カリキュラム)における教育成果指標としてのcan-doリストの開発」、広島修道大学健康科学研究第1巻(平成30年2月)、51-63)。本年度も引き続き調査を実施しながら、平成29年度からの新カリキュラムに対応したCan-doリストを作成し、今後のFD事業の一環として教育成果測定に取り組んでいく。

また健康栄養学科では、平成29年度より完成年度における管理栄養士国家試験の受験対策を始めているが、平成30年度はそのシステム化に努める。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFDでは、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。健康科学部教授会及び各学科における学科会議は、まさに日々の教育に直結する内容ばかりであり、各教員が自らの教育指導に反映させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回(前期・後期)定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成29年度は通年で369名の教員が実施し(専任教員の実施率は99.5%)、一人あたりの平均実施科目数は3.25科目であった。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、本人のみならず学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

・科目分類別の授業アンケート集計表

・実施集計表(学部単位の実施者数および率)

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康科学部は、中央教育審議会答申が「我が国の高等教育の将来像」（平成17年1月28日）で掲げた機能のうち、第一に「高度専門職業人養成」の機能を担い、心理学科では臨床心理士・公認心理師等の心理カウンセラー、健康栄養学科では管理栄養士及び栄養士を養成し、併せて「幅広い職業人養成」の機能を担うことにより、児童心理司、心理判定員、社会福祉主事、食品衛生管理者、食品衛生監視員、高等学校（公民）教諭、栄養教諭等を養成することを目的として設置された。また、以上のような人材を社会に送り出すことによって「社会貢献（地域貢献）機能」をも担う。

設置1年目の平成29年度は、健康科学部並びに心理学科、健康栄養学科のそれぞれの設置趣旨・目的について、入学時の教学センターガイダンス、学科教員ガイダンス、チューターガイダンス、更には学科基礎科目等で折に触れてしっかりと学生に認識させながら履修指導を行うとともに、健康科学部設置趣意書に記載した両学科のカリキュラムを着実に履行した。その結果、平成29年度生（1期生）の成績は、心理学科84名のSA平均2.54、健康栄養学科77名のSA平均2.18となり、両学科ともに教育目標に沿った教育体制が順調に滑り出したと考えている。

さらに平成30年度入試では、心理学科では定員80名に対して全ての入試制度における志願者数が651名（平成29年度入試770名）とやや減少したものの84名が入学した。一方の健康栄養学科では、入学定員80名に対して全入試制度における志願者数402名（平成29年度入試279名）と大幅に増加し87名が入学した。今後は入学定員の厳格化を遵守しながら、健康科学部並びに心理学科、健康栄養学科それぞれの設置趣旨・目的を体現するために編成されたカリキュラムを着実に履行し、健康栄養学科においては完成年度に向けて国家試験受験対策システムを整備し、さらには大学教職員一体となつての広報活動を展開することによって本学部存在意義を引き続き世に問うていきたい。

なお心理学科においては、公認心理師国家試験の受験に必要なカリキュラムが平成29年6月に公表されたことを受け、設置趣意書に記載した科目とその内容についての点検を本学大学院人文科学研究科心理学専攻と協働して直ちに実施し、学部と大学院カリキュラムにおける複数科目の追加と科目名称の変更を大学評議会に上申して承認を得た。その結果を以って平成30年3月に「開講科目確認書」を文部科学省並びに厚生労働省に提出した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年8月1日 公表

b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、「その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」とし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』（平成5年～）、『広島修道大学白書』（平成11年度～）、『広島修道大学の現況』（平成21年度～）として刊行し、社会に公開している。また、大学Webサイトでも同様の情報公開を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度に大学基準協会の第三者認証評価を受け、適合と判定されている。本年平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受けることとしている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(2018 年 7 月 1 日)

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。